ROOM MATE

19型DVD内臓デジタルハイビジョンLEDテレビ

EB-RM19DTV

取扱説明書

保証書添付

この度は本製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

●本機の性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使い頂くために、ご使用前にお読みください。お読みになった後は、保証書付ですので大切に保管し、必要に応じてご利用ください。

●保証書に、「お買い上げ日、販売店名」などの記入があるかを必ずお確かめください。

製品の性能及び機能に関する変更におきましては個別にお知らせすることはありません。実際の設定及び使用方法が本マニュアルに記載 されているものと異なる場合があります。

はじめに/もくじ

はじめに/安全上のご注意【必ずお読みください】

製品本体および取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。下記の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の意味

表示	表示の意味
⚠ 危険	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負う可能性が高いことを示します。
⚠ 警告	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されることを示します。
⚠ 注意	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が傷害(*2)を負う、又は物的損害(*3)の発生が想定されることを示します。

■図記号の意味

図記号	図記号の意味
禁止	“⊘ ” は、禁止(やってはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示	“❗”は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注意	“△”は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

*1 :重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、骨折、中毒、感電などの後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2 :傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3 :物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

異常や故障のとき

警告

●煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認しお買い上げの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。

●内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店またはサービスセンターに点検をご依頼ください。

●落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店またはサービスセンターに点検をご依頼ください。

●電源コードが傷んだり、プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店またはサービスセンターに交換をご依頼ください。

●液晶画面の破損により液体が漏れてしまった場合、液体を吸い込んだり飲んだりしないこと。

中毒をおこすおそれがあります。万一、目や口に入った場合は、水で洗い医師の診察を受けてください。

設置されるとき

⚠警告

●屋外や風呂、シャワー室など水のかかる恐れのある場所には置かないこと。

火災・感電の原因となります。

●ぐらついたり傾いた所など不安定な場所や振動のある場所には設置しないこと。

本機が落下して、けがをしたり、故障の原因となります。

●ひざの上などで使用するなど肌にふれないこと

低温やけどの原因となります。
（低温やけどは体温より高い温度のものを長時間あてていると発生するやけどです。）

⚠注意

●温度の高い場所に置かないこと。

直射日光の当たる場所・閉め切った車内、ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因および破損、部品の劣化となることがあります。

●湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと。

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災や感電の原因になります。

●風通しの悪い場所で使用しないこと。

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。また、温度上昇により、動作不安定になることがあります。

●本機を移動させる場合は、ACアダプターやその他外部接続線をはずすこと。

配線を抜かずに運ぶとコードが傷付き火災・感電の原因となったり、落下によるけがの原因となることがあります。

はじめに/安全上のご注意

ご使用になるとき

●修理・分解・改造しないこと。

分解禁止

火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはサービスセンターにご依頼ください。

●内部に異物を入れないこと。

異物挿入禁止

針やクリップなどの金属類、紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災や感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●雷が鳴り出したら本機やACアダプターに触れないこと。

接触禁止

感電の原因となります。

●水に濡らしたりしないこと。

水ぬれ禁止

火災・感電の原因になります。飲み物をこぼしたりしないでください。また雨天、降雪時や海岸、水辺でのご使用時は特にご注意ください。

●ディスク用のピックアップに眼を近づけたりレーザー光を見ないこと。

禁止

レーザー光は見られないようになっていますが、万が一故障や異常によってレーザー光が発光された場合に見つめたりすると視力障害の原因となります。

●歩行中や乗り物を運転しながらの使用はしないこと。

禁止

交通事故の原因となります。

⚠注意

●変形、ひび割れ、接着剤で補修、シール等を貼付けたディスクは使用しないこと。

禁止

ディスクは高速回転します。飛び散ってけがや故障の原因となります。

●ヘッドホン、イヤホン等をご使用になるときは音量をあげすぎないこと。

禁止

大きな音量で聞くと聴覚機能に悪影響をあたえることがあります。

●ディスクが回っているときにディスクには触れないこと。

禁止

けがや故障の原因となります。

はじめに/使用上のご注意

ACアダプターと電源コードについて

⚠警告

●ACアダプターは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること。

指示

火災・感電の原因となります。

● ACアダプターは付属のものを使用すること。

禁止

指定以外のACアダプターを使用すると、火災・故障の原因となることがあります。

●アダプターのコードは傷付けたり、加工したり、加熱したりしないこと
・引張ったり、重いものをのせたりはさんだりしないこと。
・無理に曲げたりねじったり束ねたりしないこと。

指示

火災・感電の原因となります。

●ACアダプターを分解、改造、修理しないこと。

禁止

電圧変換器(DC-DCコンバータ)を使用すると故障の原因になることがあります。

●時々ACアダプターを抜いて接点をきれいに掃除すること。

指示

電源プラグの絶縁低下により火災の原因になります。

⚠注意

●ぬれた手でアダプターを抜き差ししないこと。

指示

感電の原因となります。

● ACアダプターをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと。

指示

コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。プラグを持って抜いてください。

●旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと。

プラグを抜く

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

●通電中のACアダプターに布団を掛けたり、暖房機器の近くやホットカーペットの上に置かないこと。

禁止

火災・故障の原因となります。

● ACアダプターはコンセントの奥まで確実に挿し込むこと。

指示

確実に挿し込んでいないと、火災・感電の原因となります。

はじめに/使用上のお願い

取扱いについて

●液晶画面を傷つけたり衝撃を与えたりしないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。

●引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、梱包材を使用し振動が伝わらないように、また外観や液晶パネルに傷がつかないようにしてください。

●殺虫剤、芳香剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。

●長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。

●普段使用しないときは、ディスクを取り出し電源を切っておいてください。

●長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて使用してください。

置き場所について

●本機は水平な場所に設置してください。不安定な場所や傾いている所、走行中の車内など不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。

●直射日光のあたる場所、熱器具の近く、閉め切った車内など温度が高くなる場所に置かないでください。故障の原因となります。

●本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置いて使用する場合、本機で再生中の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

お手入れについて

●本体や操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
ベンジン、シンナー、アルコール等の有機溶剤は絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりする原因となります。

●液晶画面についたよごれなどは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

はじめに/使用上のお願い

レーザー製品について

●本機は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただいたあとも必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店にご依頼ください。

●本取扱説明書に記載された以外の調整・改造を行なうと、レーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。

●本機は、映像信号の読み取りのためにレーザーを使っています。弱いレーザー光のため、人体に大きな影響はありませんが、安全のため、絶対に製品を分解しないでください。

結露(露付き)について

結露(露付き)とは、よく冷えた飲料水をコップにそそぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを"結露(露付き)"といいます。同じような現象として、製品内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。

●結露に注意する

・本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき

・暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたる場所に置いたとき

・夏季に冷房のきいた部屋・車内などから急に温度、湿度の高い場所に移動したとき

・湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき

●結露がおきそうなときは、本機をすぐに停止する

結露がおきた状態で本機を使用すると、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源を入れておくと、本機があたたまり水滴がとれますので、しばらく放置してからご使用ください。

DVDやCD及び各種メディア再生について

●CD-R、DVD-R及び各種メディアを使用する場合は、ファイルの種類または作成されるレコーダーやPC等の互換性やデータの保存方式によって再生できないものがあります。そのためすべてのメディアの再生は保証できません。

●本機で再生する前に、必ず作成したレコーダーでファイナライズ処理をしてください。

●大きいサイズのデータや大容量メディアについては読み込みが遅かったり、認識できない場合があります。

●本機で再生できるCPRMディスクはVRモードのみです。

●デジタル放送を録画したVRモード・CPRMのディスクは読み込みに時間がかかったり、記録状態によっては認識できない場合もあります。

●ピックアップのヘッド（ディスクを読み取るレンズ）には触れないでください。

●ディスクトレイにはDVD、CD以外の異物を挿入しないでください。また、SDスロットに異物を挿入しないでください。

●ディスクをセットする時は１枚だけを使用し、記録面（シラー）を手前側にして差し込んでください。

ディスクの取り扱いについて

●ディスクを持つ時は、図のように記録部分には触れず、ディスクの端を挟んでお取り扱いください。指紋、ホコリ、傷等によりディスクの読み込みができない場合があります。

●ディスクのラベル面にボールペン等で書き込まないでください。

●ディスクに紙やシールを貼らないでください。

●ディスクを曲げたり落としたりしないでください。

●ディスクについた指紋やほこりなどの汚れは、柔らかい布でディスクの中心から外周に向かって軽く拭きとってください。

メモリーカードについて

●メモリーカードの容量やメーカーによっては、再生できない場合があります。
対応していない種類のメモリーカードを本機に挿入しないでください。未対応のメモリーカードを挿入した場合、本機およびメモリーカードが故障・破損するおそれがあります。

●大切なデータはバックアップをとっておくことをお勧めします。本機でメモリーカードを使用することによって、万一何らかの不具合が発生した場合でも、データの損失や記録できなかったデータの保障、およびこれらに関わるその他の直接または間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●メモリーカードの取扱い方については、各メモリーカードの取扱説明書をご覧ください。

●通常のご使用でデータが破損(消滅)することはありませんが、誤った使い方をするとデータが破損(消滅)することがあります。記録されたデータの破損(消滅)については、故障や損害の内容・原因に関わらず当社は一切その責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●メモリーカードを本機に差し込むときは、上下(表裏)の向きに注意して、最後までしっかりと差し込んでください。

●メモリーカードへの書込み、読出し中は、本機の電源を切ったり、メモリーカードを取り出したりしないでください。記録されているデータが破壊されるおそれがあります。

●メモリーカードは精密部品です。折り曲げたり、落としたりなどの無理な力や強い衝撃を与えないでください。

●強い磁場や静電気が発生するところでの使用や保管はしないでください。

●高温多湿なところやほこり、油煙の多い場所での使用や保管はしないでください。

●メモリーカードの金属部(金色の部分)にゴミや異物がつかないように、また手で触れないように注意してください。

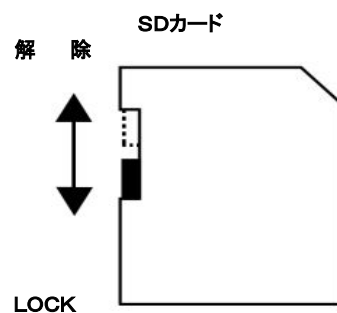
●メモリーカードを持ち歩いたり、保管をするときには、静電気防止ケースに入れてください。

●直射日光があたるところや、ストーブやヒーターなど熱源のそばに放置すると、故障の原因になることがあります。

●ズボンやスカートのうしろポケットに入れたまま、座席やいすなどに座らないでください。破損、故障の原因となります。

●本機から取り出したメモリーカードが熱くなっていることがありますが、故障ではありません。

●メモリーカードには寿命があります。長時間使用するうちに書込みや消去ができなくなった場合には、新しいメモリーカードをお求めください。

●大切なデータを誤って消去しないために、カード側面のライトプロテクトタブを「LOCK」に切り換えると、ロック状態(書込み禁止状態)にすることができます。記録、編集、消去するときはロック状態を解除してください。

テレビ受信について

●ご購入後、はじめてテレビをお使いになる場合はスキャン操作をしてください。
スキャンは使用する地域で受信可能な放送局を記憶させる操作で、テレビを視聴するために必ず必要な設定です。

●スキャン操作ははじめて使用する時以外にも移動や引っ越し等で受信可能な放送局が変わる場合や、ご使用の地域で新しい放送が開始された場合等にも再度設定する必要があります。

●本製品のテレビ機能は日本国内の地上デジタル放送（ワンセグ）を受信するためのものです。
海外ではご使用になれません。また国内であっても地上デジタル放送を開始していない地域では番組を受信できません。

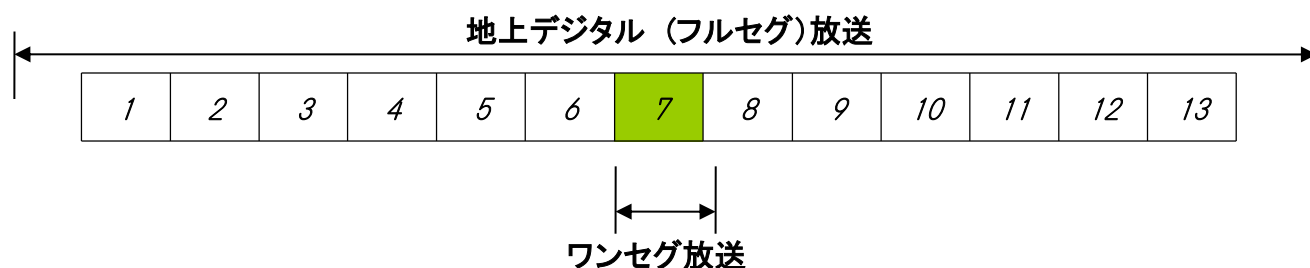
●建物の陰や窓際から遠い室内や地下等では電波が届かないため放送を受信することができません。また、屋外でも電波が弱い場所では受信できない場合があります。

ワンセグ放送について

「ワンセグ」は地上デジタル放送のひとつで、広い範囲で受信できるサービスです。

地上デジタル放送は1チャンネルの帯域幅内で13個のセグメントに分割し使用しています。そのうち一つのセグメントを利用して放送していることから「ワンセグ」と呼んでいます。

詳しくは社団法人デジタル放送推進協会（Dpa)のホームページ（http://www.dpa.or.jp/）をご覧ください。

放送エリアの目安は（http://dpa-tv-area.jp/）にてご確認いただけます。

フルセグに比べ、ワンセグはデータが軽いため弱い電波でも受信が可能で広範囲で受信が可能です。

視聴中のご注意

●地域により受信可能な放送局は異なります。必ずご使用する地域で放送局のスキャン操作を行い受信できる放送局を設定してください。
放送エリア内でも、周囲の地形や建物などにより電波が届かない場所やトンネル、建物内などでは受信できないことがありますのであらかじめご了承願います。

●電波が弱いエリアの場合、音声や映像が乱れたり、画像の静止、黒い画面になることがあります。デジタル放送の場合、アナログ放送のように乱れた映像でもかろうじて視聴できる、というような状態にはなりません。アンテナ角度の調整や電波状態の良い場所に戻ることで改善されます。

●デジタル放送の場合、実際の時刻と番組にタイムラグ(時間のずれ）が発生します。
正確な時刻どおりに番組が始まらない等は、放送特性上のものであり機器の故障ではありません。（数秒の遅れが発生します）

はじめに/ディスクについて

■再生できるディスク

このプレーヤーでは、以下の仕様のディスクを使用できます。

ディスク名称	記録内容	ディスクのサイズ
DVDビデオディスク	映像＋音声	12cm
音楽用CD	音声	12cm

また、以下のディスクも再生することができます。

・DVDビデオフォーマットのDVD-Rディスク

・CD-DAフォーマット(音楽用CD)のCD-R/CD-RWディスク

・MP3・WMA/JPEG/AVI形式のファイルが記録されたCD-R/CD-RWディスク

※上記のディスクであっても、ディスクの相性、データの作り方等によって再生できない場合があります。

※DVD-R/RWディスクの場合はVRモードで録画を行い、最後にファイナライズという処理を行わないと

　再生できません。詳しくはディスクに録画を行ったDVDレコーダーやPC等の取扱説明書をお読みください。

※本製品はVRモードで記録されたディスクを再生することができます。

※本機は標準で録画されたディスクを再生することができます。

■再生できないディスク

以下のディスクは、このプレーヤーでは再生できません。

●リージョンコードがあっていないもの。

（ディスクのケースに印刷されているリージョンコードの番号をお確かめください。日本は②です。）

●DVD-R/RW、CD-R/RWに入っているPCアプリケーションソフト等は実行されません。

●パソコン専用のCD-ROM

●パソコン用OS(基本ソフト)でフォーマットされたCD-MP3ディスク

●Blu-ray、HD DVD、DVDオーディオ、DVD－RAMなどのディスク

●AVCHD方式やAVCREC方式、HD Rec方式で記録されたディスク

●2層式ディスク(DVD-R DL)の再生はサポートしていません。

●CD-R/RW、DVD-R/RWでファイナライズされていないディスク

■ディスクの機能のマークについて

ディスクやパッケージには、次のようなマークが表示されています。

このようなマークの表示されているディスクが対応できます。

DVDビデオ

音楽用CD

Mp3

Dolby Digital

KODAK picture CD

音声トラック数

字幕数

スクリーンサイズ

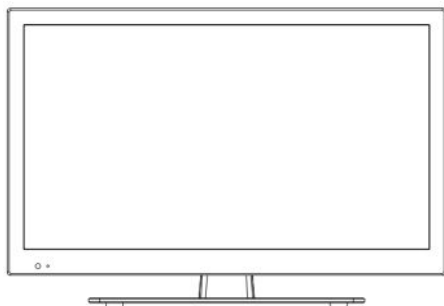
ディスクによって、搭載されている機能が違いますので、パッケージでご確認ください。

はじめに/同梱品一覧

同梱品一覧c

本製品をご使用頂く前に、以下の内容物が全て揃っていることをご確認ください。

※イラストは実物と異なる場合があります。

※稀に液晶パネルの一部に点灯しない画素・もしくは常時点灯している画素が発生する場合がありますが、本機の故障ではありません。また、見る角度によって色や明るさにムラガ生じることがありますが、製品の動作には影響はありませんので、あらかじめご了承ください。

本体・台座・ネジ4本
※出荷、本体・台座・ネジ(4本)が分けて梱包されています。

取扱説明書
(本書)

ACアダプター
(電源コード)

AVコード

ｍｉｎｉＢ－ＣＡＳ
カード

リモコン

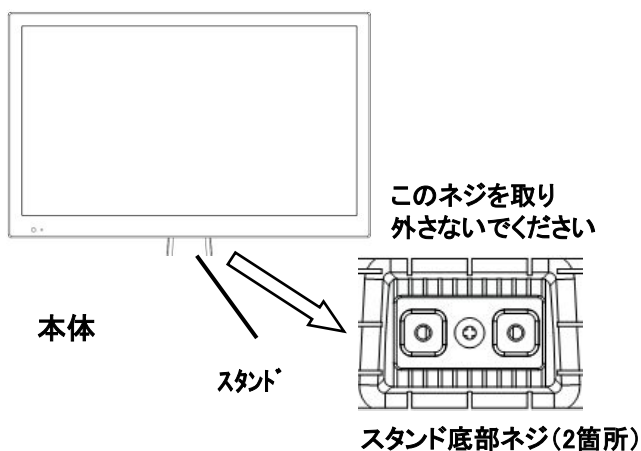
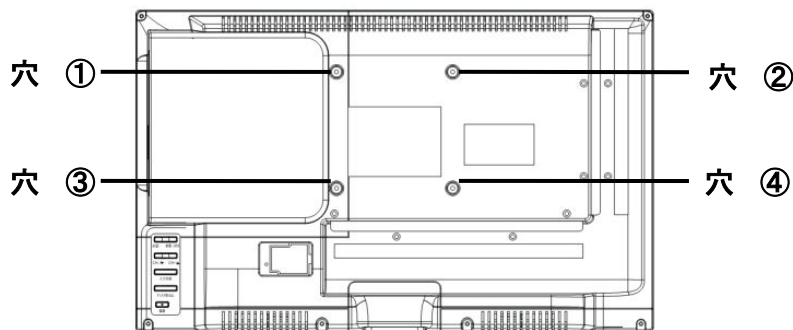
リモコンテスト用
単4形乾電池×2本

※同梱されるリモコン用の電池はテスト用です。早めに新品と交換してください。

はじめに/壁かけでの使用・台座を組立

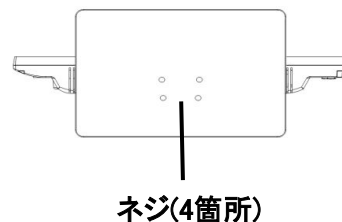
お使いになる場合は、台座に本体の液晶パネルを取り付け、輸送など行う場合は台座を取り外してください。
お願い：・落下等の恐れがありますので、安全のために作業は、二人以上で行ってください。
・電源コードや信号ケーブルが本体に取り付けられていないことを確認のうえ作業を行ってください。
・台座、または本体の液晶パネル部を落として強い衝撃を与えたときは、いったん作業を中断し、カスタマーサポートに点検を依頼してください。

・壁掛けでの使用・壁掛けでの使用する場合

・本機は机・テーブル等に置いて使用もしくは
壁にかけて使用することもできます。

1.本体を出します。
十字ドライバで本体に取り付けたスタンドを取り外してください。取り外した台座とネジは小さなお子様が届かない所に大切に保管してください。

2. 本機背面の壁掛け穴のピッチに合わせて、
本機を壁面に設置してください。設置の際は
本機を落下させないように注意してください。

※壁掛け：取付寸法100x100mm
壁掛け金具：別売市販
最寄りの家電量販店等にお問い合わせ下さい。

・台座を組立する場合

1. 本体、ネジ台座を取り出してください。

2. 本体スタンドのネジ穴と台座のネジ
穴を合わせて、ネジで止めてください。

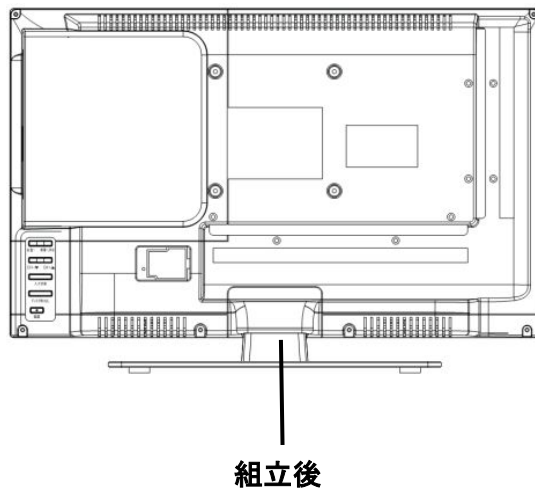
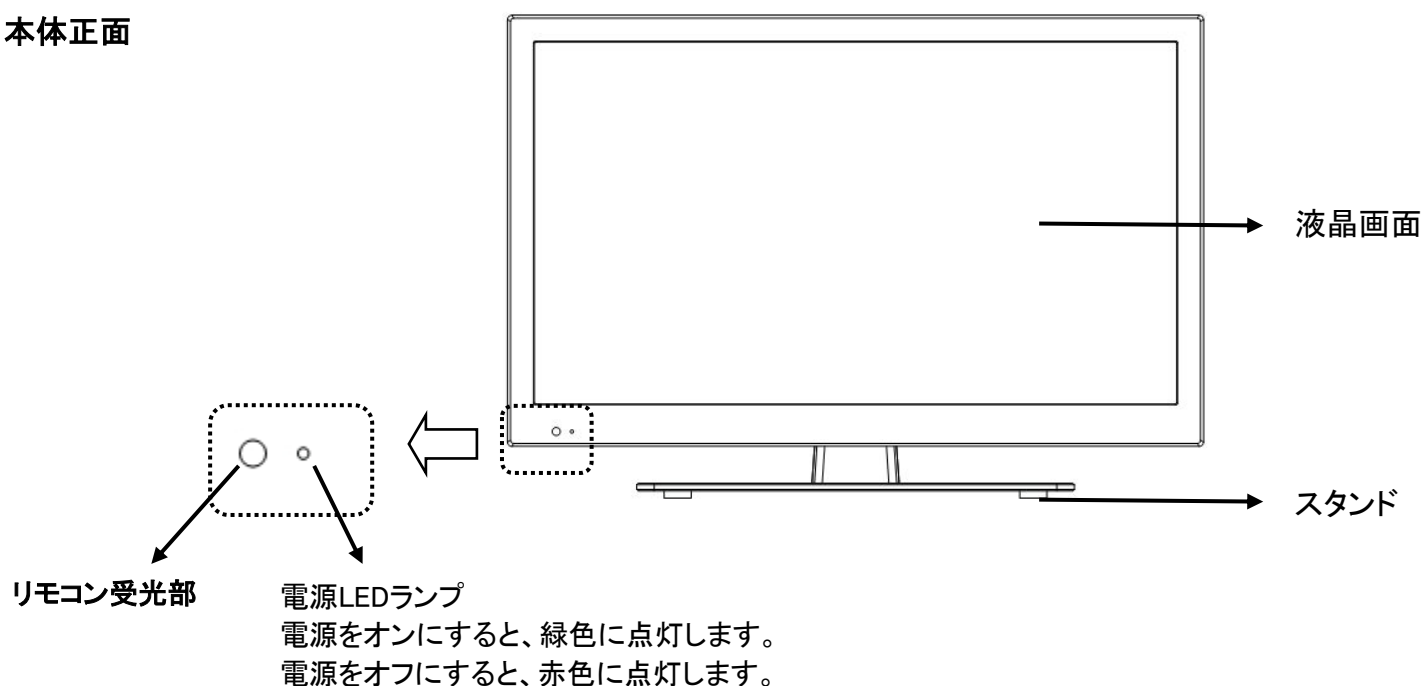
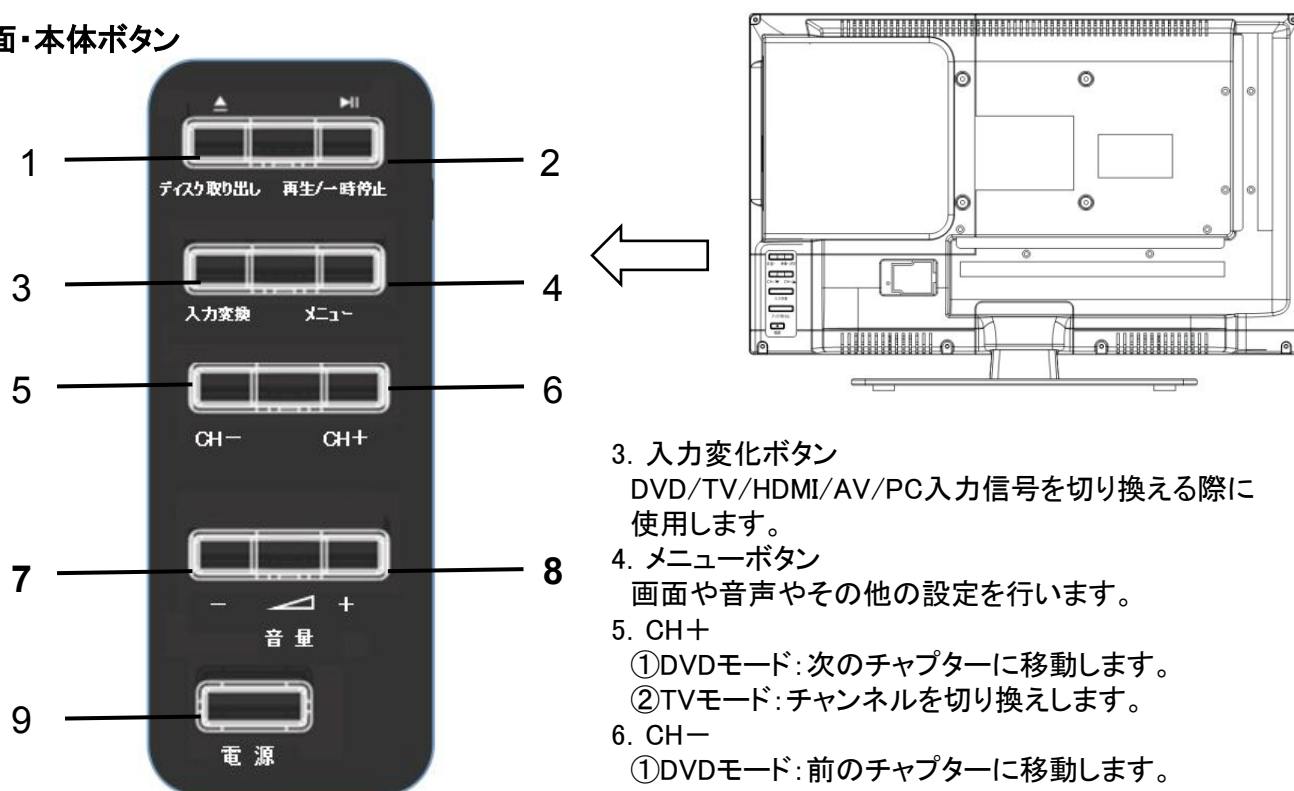
はじめに/本体各部の名称

■本体正面

液晶画面

スタンド

リモコン受光部

電源LEDランプ
電源をオンにすると、緑色に点灯します。
電源をオフにすると、赤色に点灯します。

■本体背面・本体ボタン

1. ディスク取り出しボタン
  ディスクを取り出します。
2. 再生/一時停止ボタン
ボタンを押すことにより再生/一時停止の切り替えをします。また、早送り、早戻しなどのその他の再生状態時に押すと通常再生に戻ります。

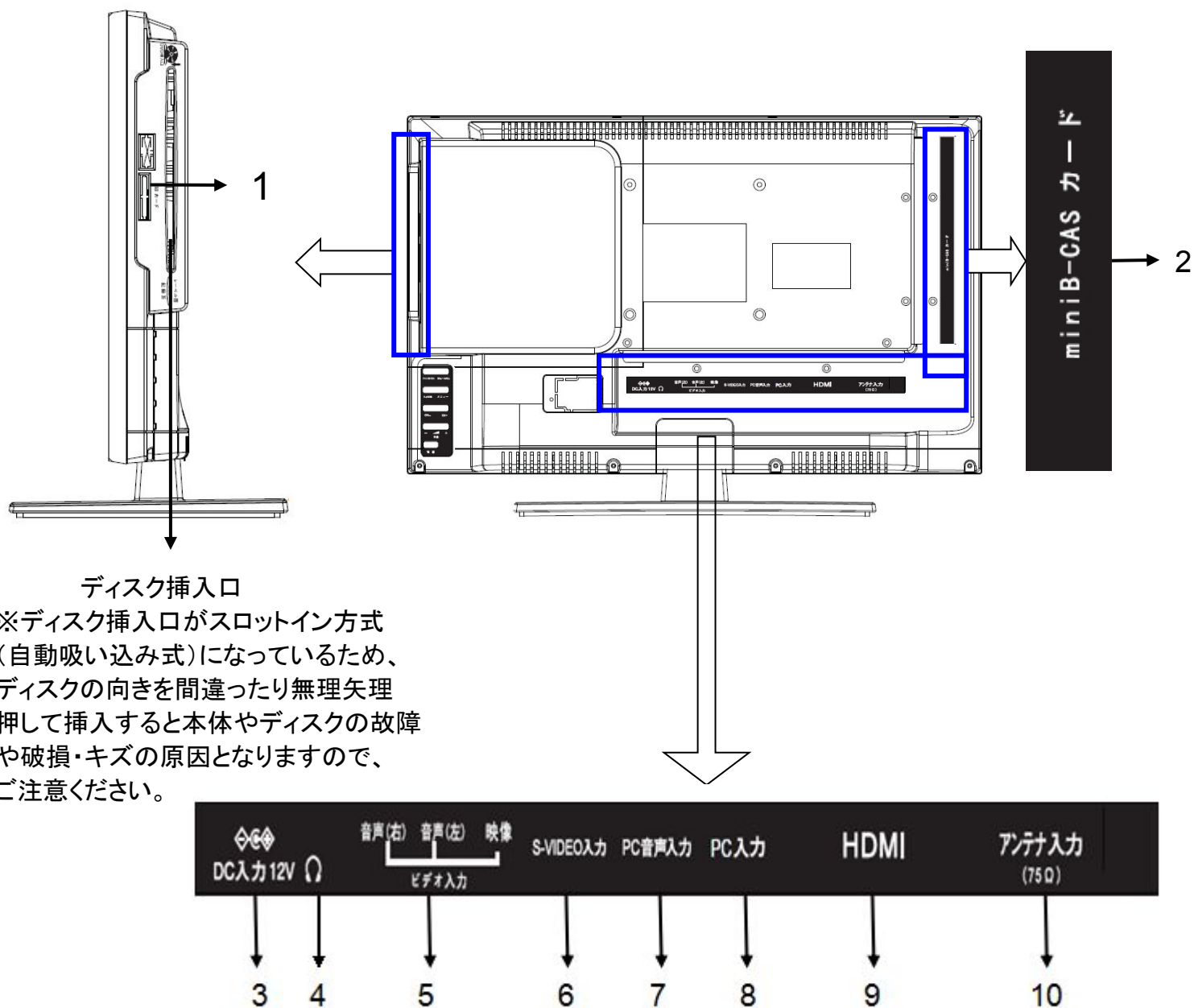
3. 入力変化ボタン
  DVD/TV/HDMI/AV/PC入力信号を切り換える際に使用します。
4. メニューボタン
  画面や音声やその他の設定を行います。
5. CH＋
  ①DVDモード:次のチャプターに移動します。
  ②TVモード:チャンネルを切り換えします。
6. CH−
  ①DVDモード:前のチャプターに移動します。
  ②TVモード:チャンネルを切り換えします。
7. 音量−ボタン
  音量を下げます。
8. 音量＋ボタン
  音量を上げます。
9. 電源ボタン
  電源をオンまたはオフにします。

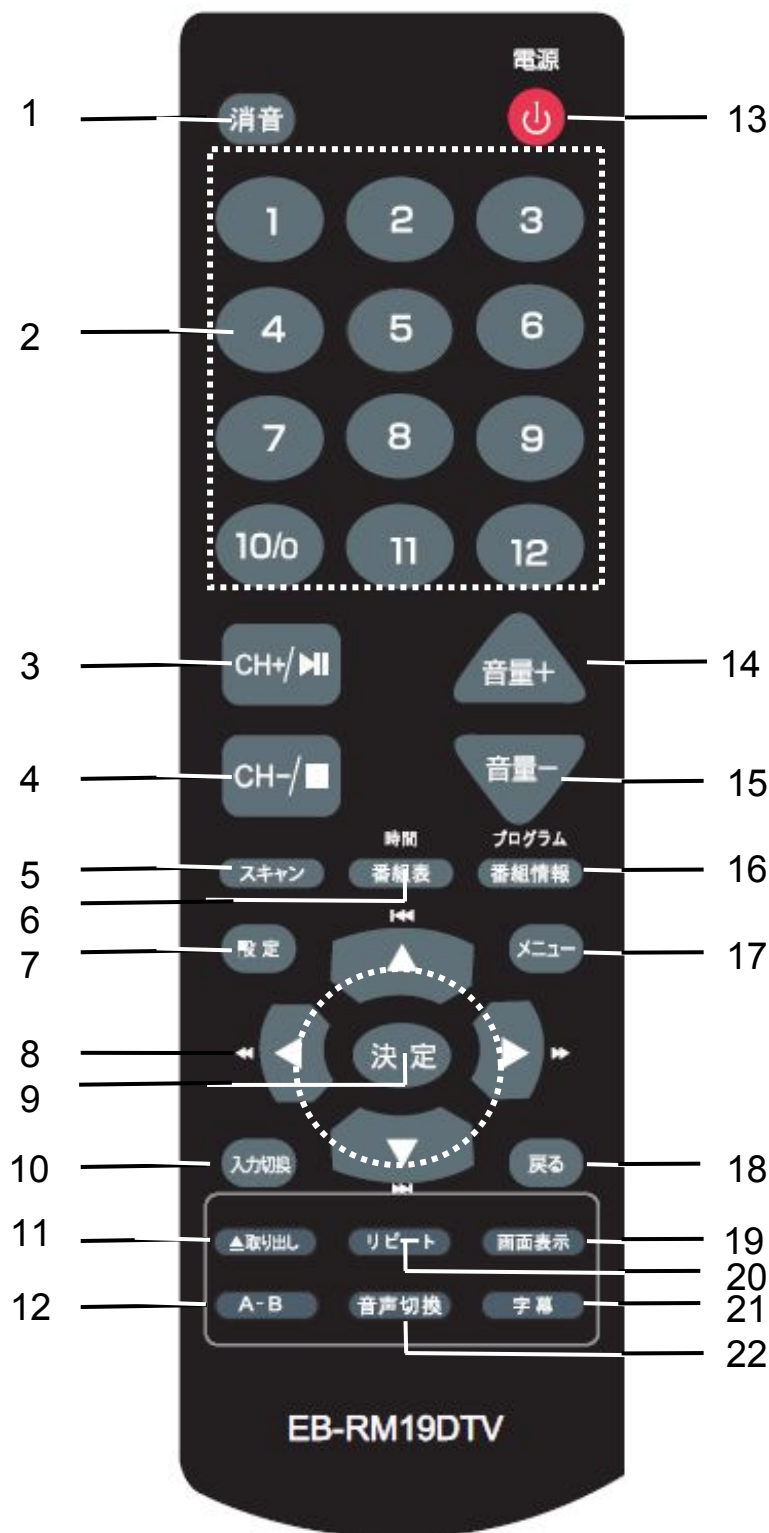
■本体背面

1

2

miniB-CAS カード

ディスク挿入口
※ディスク挿入口がスロットイン方式
（自動吸い込み式）になっているため、
ディスクの向きを間違ったり無理矢理
押して挿入すると本体やディスクの故障
や破損・キズの原因となりますので、
ご注意ください。

1. SDカードスロット
2. miniB-CASカード挿入口
3. 電源入力端子
4. イヤホン端子
5. ビデオ入力端子（映像、音声左、音声右）
6. S-VIDEO入力ボタン
7. PC音声入力端子
8. PC入力端子
9. HDMI入力端子
10. アンテナ入力端子

はじめに/リモコンのはたらき

1. 消音ボタン

2. 0-12数字ボタン

3. 再生/CH＋ボタン

4. 停止/CH－ボタン

5. スキャンボタン

6. 時間/番組表ボタン

7. 設定ボタン

8. 方向ボタン

9. 決定ボタン

10.入力切換ボタン

11.取り出しボタン

12.A-Bボタン

13.電源ボタン

14.音量＋ボタン

15.音量－ボタン

16.プログラム/番組情報ボタン

17.メニューボタン

18. 戻るボタン

19.画面表示ボタン

20.リピートボタン

21.字幕ボタン

22.音声切換ボタン

■DVD、CD、SDカード再生のとき使用するボタン

NO.	名　称	表　示	機　　能
1	消音ボタン	消音	音を消す際に使用します。
2	0-12数字ボタン	1～9、10/0、11～12	任意のシーンや曲の番号を直接入力する際に使用します。 12はTVモードのみ使用できます。
3	再生ボタン	▶II	再生を開始します。再生中押すと一時停止になります。
4	停止ボタン	■	再生を停止します。
6	時間ボタン	時間・番組表	再生内容を指定する際に使用します。
7	設定ボタン	設定	システム設定画面を表示します。
8	方向（上下左右）	▲▼◀ ▶	上下方向ボタン：ディスク再生中に押すと前/次のチャプターに移動します。 左右方向ボタン：ディスク再生中に押すと早戻し/早送りを行います。
9	決定ボタン	決定	設定/選択した項目を実行します。
10	入力切換ボタン	入力切換	DVD/TV/HDMI/AV/S-VIDEO/PC機能を切換える際に使用します。
11	取り出しボタン	取り出し	ディスクを取り出します。
12	A－Bボタン	A-B	ディスクの再生中AからBまでリピートできます。
13	電源ボタン	電源	電源をオンまたはオフにします。
14	音量＋ボタン	音量＋	音量を上げます。
15	音量－ボタン	音量－	音量を下げます。
16	プログラムボタン	プログラム	プログラム再生を設定する際に使用します。
17	メニューボタン	メニュー	ディスクの再生中、設定画面に入ります。2回を押すとDVD・CD／SDカードの再生を切換えることができます。
18	戻るボタン	戻る	ディスクメニュー画面に戻る際に使用します。
19	画面表示ボタン	画面表示	ディスク再生中、現在のディスクの情報を表示します。
20	リピートボタン	リピート	ディスクの再生中、チャプターやタイトルごとにリピートできます。
21	字幕ボタン	字幕	字幕を切換える際に使用します。
22	音声切換ボタン	音声切換	音声を切換える際に使用します。

■テレビを観るときに使用するボタン

NO.	名　称	表　示	機　　能
1	消音ボタン	消音	音を消す際に使用します。
2	0-12数字ボタン	1～9、10/0、11～12	任意のシーンや曲の番号を直接入力する際に使用します。 12はTVモードのみ使用できます。
3	CH+ボタン	CH+	チャンネルを切り換えます。
4	CH-ボタン	CH-	チャンネルを切り換えます。
5	スキャンボタン	スキャン	TV使用時、チャンネルのスキャンを開始し、受信可能な放送局を探し出します。
6	番組表ボタン	番組表	番組表を表示します。
7	設定ボタン	設定	システム設定画面を表示します。
8	方向（上下左右）	▲ ▼ ◀ ▶	上下方向ボタン：ディスク再生中に押すと前/次のチャプターに移動します。 左右方向ボタン：ディスク再生中に押すと早戻し/早送りを行います。
9	決定ボタン	決定	設定/選択した項目を実行します。
10	入力切換ボタン	入力切換	DVD/TV/HDMI/AV/PC機能を切換える際に使用します。
13	電源ボタン	電源	電源をオンまたはオフにします。
14	音量＋ボタン	音量＋	音量を上げます。
15	音量－ボタン	音量－	音量を下げます。
16	番組情報	番組情報	番組情報を表示します。
17	メニューボタン	メニュー	TV設定メニュー画面を表示します。
18	戻るボタン	戻る	一つ前の画面に戻ります。
19	画面表示ボタン	画面表示	現在のチャンネル情報を表示します。
21	字幕ボタン	字幕	字幕を切換える際に使用します。
22	音声切換ボタン	音声切換	音声を切換える際に使用します。

はじめに/リモコンの使い方

■リモコンの準備

①リモコンのふたを外す。

②乾電池をいれる。
・単４形乾電池を使用します。
・乾電池は一側から縦に2本挿入して下さい。

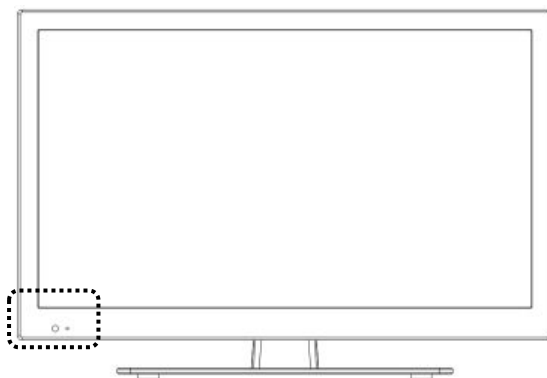
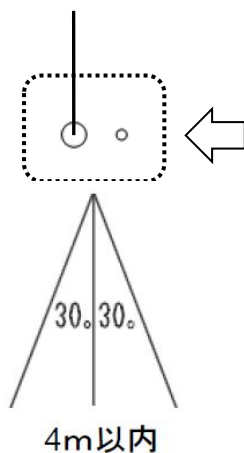
③リモコンのふたを閉める。

[注意]:リモコン電池について
※リモコンの電池は、単４形乾電池(2本使用)です。
製品付属の電池は動作確認用になります。通常ご使用分は、
別途ご用意ください。
※長期関本製品を使用しない時はリモコンの電池を取り出して
保管してください。

■リモコンの操作範囲

画面に対し垂直に向けて
操作してください。

距離:リモコン受光部から4m以内
角度:リモコン受光部から
　　上下左右約30度以内

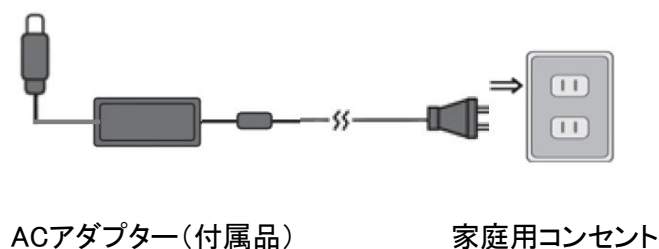
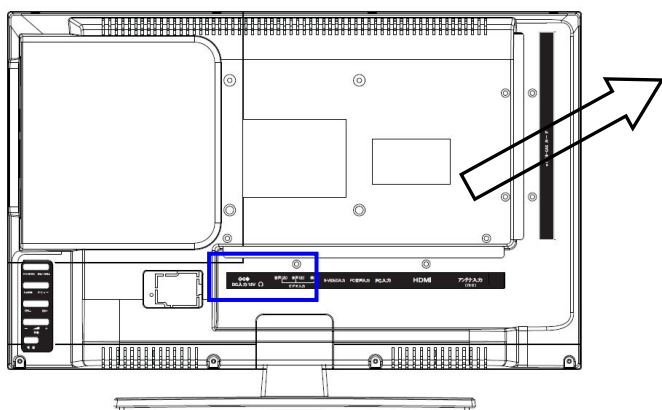
※イラストは実物と異なる場合があります

はじめに/電源の接続

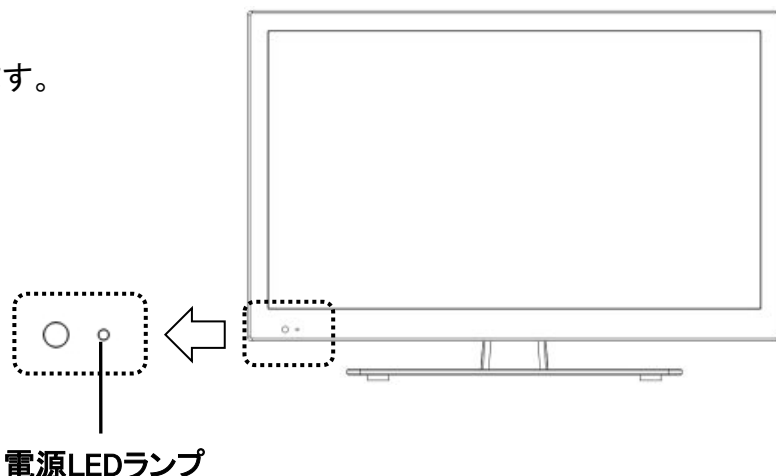
■ACアダプターの接続

1、付属のACアダプターを本体背面の『DC入力12V』(電源入力端子)に接続し、
家庭用コンセントに差し込むと、本体正面の『電源LEDランプ』が赤色に点灯します。

2、本体背面の「電源」ボタンまたはリモコンの「 」を押します。
『電源LEDランプ』が緑色に点灯します。

本体背面

ACアダプター（付属品） 家庭用コンセント

電源を切る時は電源を入れる時と逆手順で行います。
1、本体背面の「電源」ボタンまたはリモコンの
「 」ボタンを押します。
『電源LEDランプ』が赤色になります。
2、ACアダプターをコンセントから抜きます。
『電源LEDランプ』が消灯します。

電源LEDランプ

⚠警告

ACアダプターは家庭用100Vのコンセントに接続すること。
・濡れた手でACアダプターの抜き差しをしないこと。
感電の原因となることがあります。
・付属のACアダプターを使用すること。
指定以外のものを使用すると、火災・故障の原因になります。
※通電中、ACアダプターの表面温度が高くなる場合があります。
持ち運ぶときは、電源プラグを抜き、温度が下がってから行ってください。

はじめに/パソコン本体との接続

■パソコン本体との接続

本製品をパソコン本体へ接続する方法について説明します。

本製品はパソコン本体とVGAケーブルで接続します。※別売市販

※一部接続機器によっては、対応していないものもございます。

注意 パソコン本体と接続する場合は、必ずパソコン本体と本製品両方
の電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行ってください。
電源を入れたまま接続すると、感電、故障の恐れや画面が表示しない
ことがあります。

・静電気の発生しやすい環境(じゅうたんの上など)での作業は行わないで
ください。
静電気を帯びることにより、電子部品が故障することがあります。

・作業は湿気やほこりの少ない直射日光の当たらない場所で行ってください。

・信号ケーブル、電源コードなどの各種ケーブルを無理に折り曲げたり、
引っ張ったり、重い物をのせたりしないでください。
ショート、断線による故障の恐れがあります。

・信号ケーブルのコネクタピンを直接手で触らないでください。
故障の原因となります。

■パソコン本体との接続

アナログRGB信号ケーブル(VGAケーブル)を使用します。

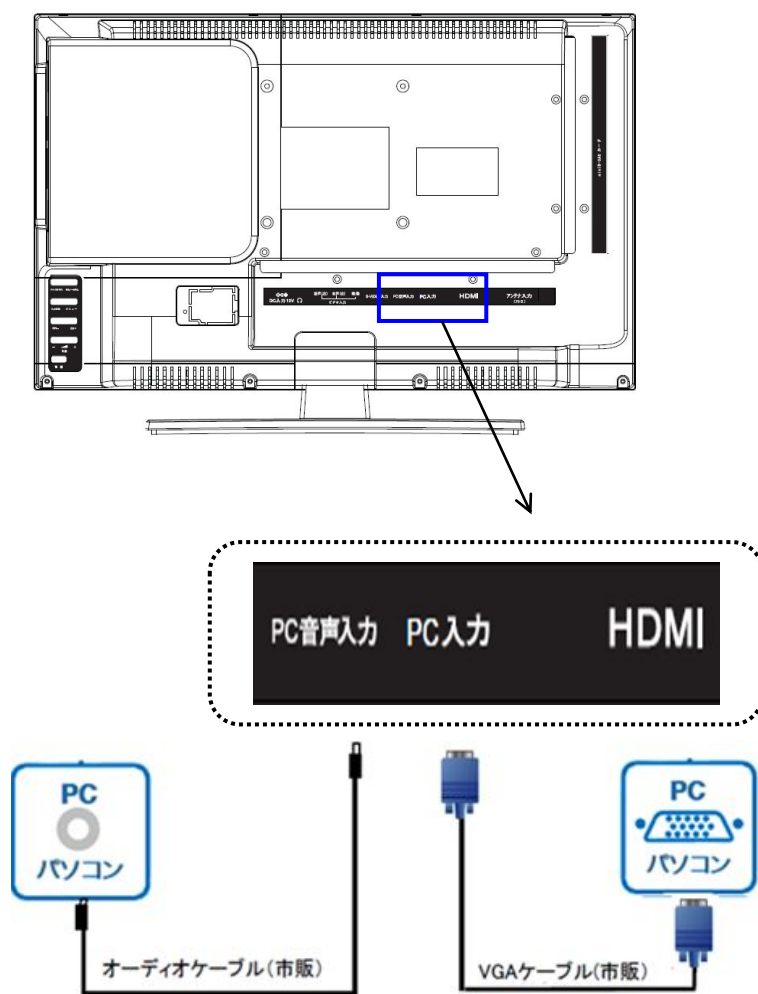
1、パソコン本体と本機の電源がOFFになっていることを確認してください。

はじめに/パソコン本体との接続

2、VGAケーブルを接続します。

VGAケーブルのプラグを本体背面の「PC入力」端子（VGAコネクタ）に接続し、
固定用ネジを手で回して固定します。

※固定用ネジは必ず手で固定してください。
　ドライバなどを使用すると固定用ネジが破損する恐れがあります。

本体背面（下部）

**3、上の図のように、オーディオケーブルのプラグの一方を本体背面の『PC音声入力』端子に
　接続します。**

はじめに/パソコン本体との接続

①VGAケーブルのプラグを接続するパソコン本体のVGAコネクター—に接続し、
　固定用ネジを手で回して固定します。
②オーディケーブルのプラグのもう一方をパソコンのラインアウト端子に
　接続します。

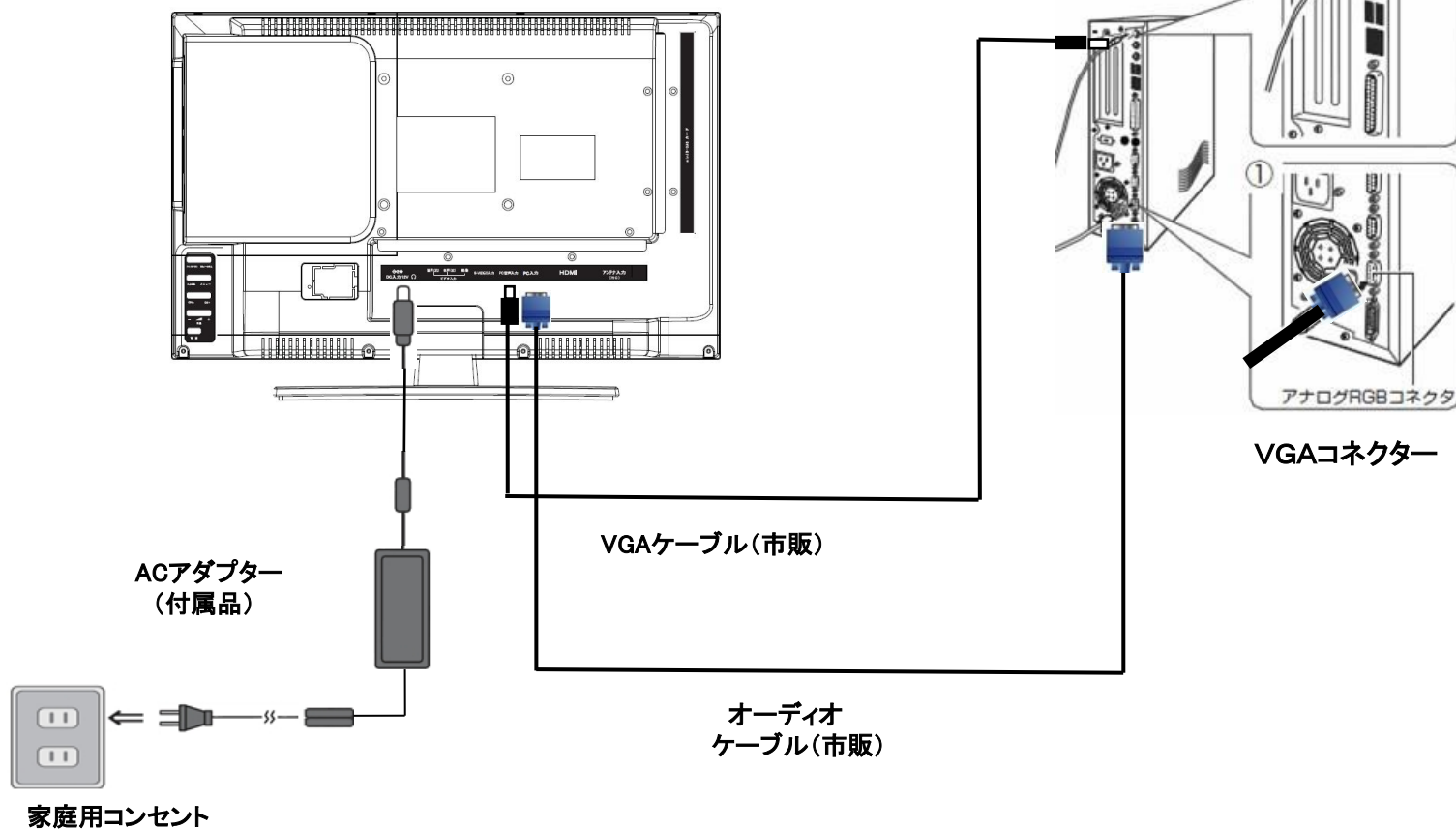
ラインアウト端子

本体背面(下部)

VGAコネクター

VGAケーブル(市販)

ACアダプター
(付属品)

オーディオ
ケーブル(市販)

家庭用コンセント

5、ACアダプターを家庭用コンセントに接続し、電源を入れます。

アダプターのプラグは、確実に家庭用コンセントの奥まで差し込んでください。

⚠ 注意

・必ず付属のACアダプターをお使いください。
・市販のACアダプターや他の電気製品のアダプターには、
　形状が同じでも定格電圧・電流が異なるものがあります。

6、入力信号を【PC】モードにしてください。

「入力切換」ボタンを押し、右上の画面表示の『PC』を選択し、
「決定」ボタンを押すと、液晶画面がパソコンのモニターとして
画像が映されます。
※信号がない状態で一定時間経過後、自動的に電源オフになります。

はじめに/パソコン本体との接続

⚠注意

・パソコン本体のVGAコネクタの位置は機種により異なります。
パソコン本体の取扱説明書でVGAコネクタの位置を確認し、接続してください。
・固定用ネジは、必ず手で回して固定してください。ドライバなどを使用すると、
固定用ネジが破損する恐れがあります。
・オーディオケーブルのパソコン本体へ接続については、機種により、接続方法
が異なります。
・各パソコン本体の取扱説明書を参照してください。

■液晶モニターのパソコン本体からの取り外し

VGAケーブル、電源コード、オーディオケーブルを本製品から取り外す場合は、
本製品とパソコン本体の電源がOFFになっていることを確認し、接続と逆の
手順で行ってください。

・VGAケーブルをパソコン本体、本製品から取り外す場合は、VGAケーブル
コネクタの固定用ネジを手で確実に緩め、固定用ネジがパソコン本体のコネクタ
からはずれた状態で取り外してください。
緩める際、固定用ネジを強く押し込んだりしないようご注意ください。
・固定用ネジがパソコン本体コネクタに接続された状態で、VGAケーブルに負荷
(無理に引っ張るなど)をかけると、VGAケーブルの破損、およびパソコン本体、
本製品の故障原因となります。

はじめに/ビデオ入力との接続

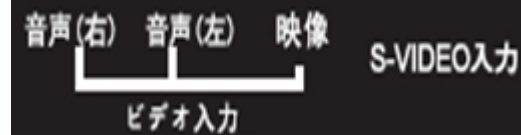
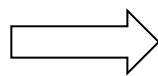
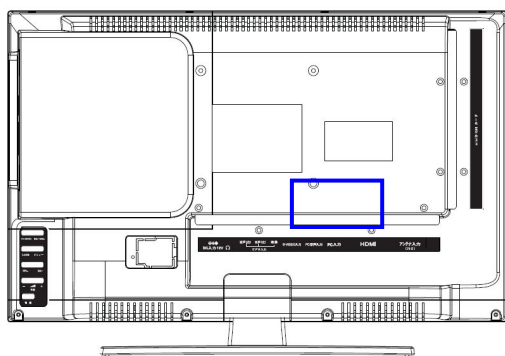
1、AV機器などの電源がOFFになっていることを確認してください。

2、AVケーブルで本機のビデオ入力端子をAV機器などのビデオ出力端子「映像（黄）・音声左（白）・音声右（赤）」と接続します。

3、S映像コード（別売）をお持ちの場合は、S映像コード（別売）を接続すると、映像をより高画質でお楽しみいただくことができます。

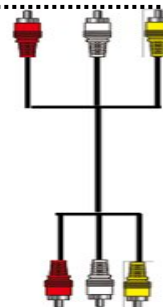
本体背面（下部）

音声(右) 音声(左) 映像 S-VIDEO入力

ビデオ入力

AVケーブル（付属品）

S映像コード（別売）

AV機器

使い方

1、テレビと外部機器の電源を入れます。

2、「入力切換」ボタンを押し、入力切換メニューを表示します。

3、「▲▼」ボタンで【AV】を選択します。

4、外部機器の操作を行います。

※外部機器が接続されていない場合、「信号がありません」の表示が出ます。一定時間経過後、自動的に電源が切れます。

はじめに/HDMI端子との接続

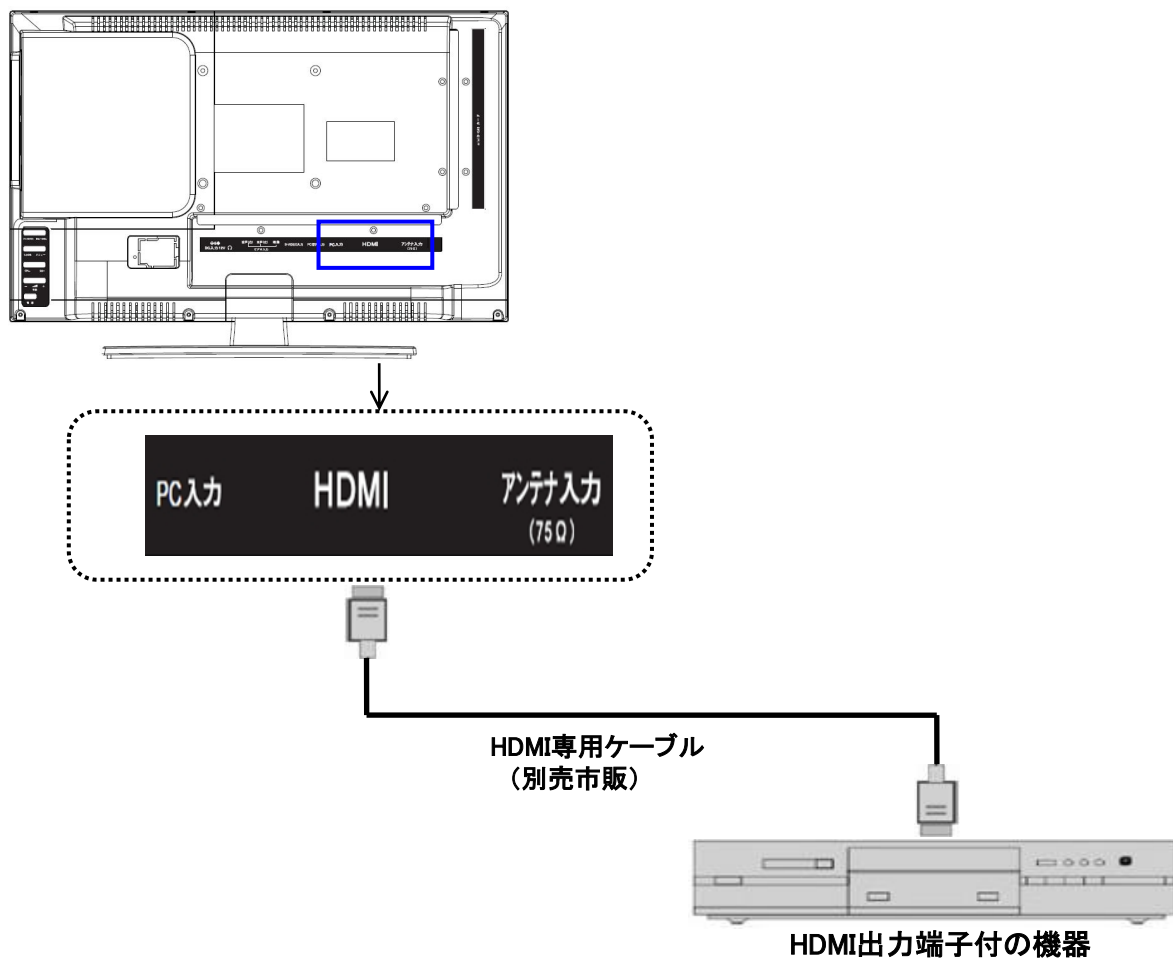
■HDMI端子に接続

1、HDMI端子付の機器とテレビを接続すると、デジタル映像と音声を高品質のまま
　ご覧いただくことができます。

本体背面（下部）

PC入力　HDMI　アンテナ入力（75Ω）

HDMI専用ケーブル
（別売市販）

HDMI出力端子付の機器

2、HDMI専用ケーブル（市販）で本機のHDMI端子を外部映像機器
　（例えば、DVD、高解像度セットトップボックス等）のHDMI端子と接続します。

3、本機のHDMI端子が対応している映像入力信号フォーマット：
　480i 、480P、576i、576P、720P/60Hz、1080i/50Hz、1080i/60Hz、1080P/50Hz、1080P/60Hz

使い方

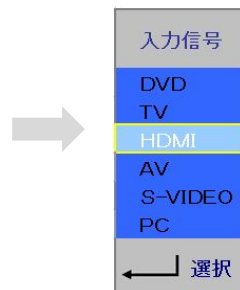
1、テレビと外部機器の電源を入れます。

2、「入力切換」ボタンを押すと、入力切換メニューが表示します。

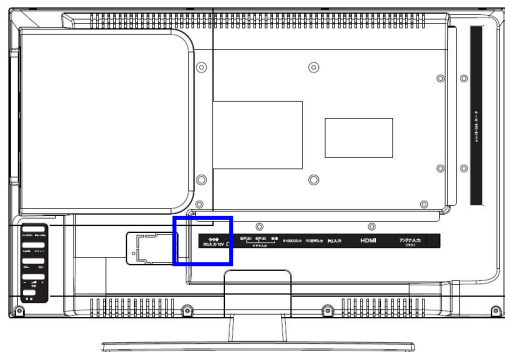
3、「▲▼」ボタンで【HDMI】を選択します。

4、外部機器の操作を行います。

※HDMI機器との相性で受像できない場合があります。

※信号がない状態で一定時間経過後、自動的に電源オフになります。

はじめに/イヤホンとの接続

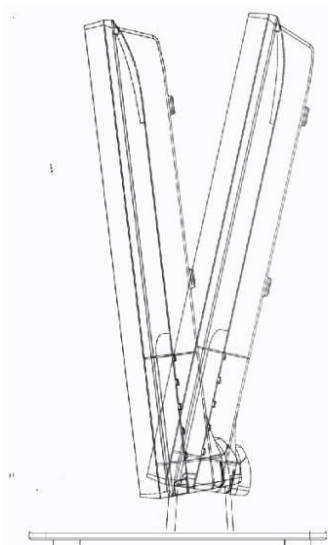
■イヤホンをつなぐ

本体背面（下部）

市販のイヤホンをイヤホン端子に接続すると、
スピーカーから音を出さずに音声を聴く
ことができます。

1、接続する時は一旦音量を下げ、
　本機の電源を切ってください。
2、電源を入れ、再生が始まってから、
　音量を調整してください。

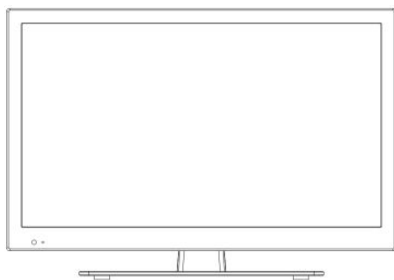
**※注意：イヤホンをご使用になる時は、音量を
上げすぎないでください。
耳を刺激するような大きな音量で聴くと、
聴力に悪い影響を与えることがあります。**

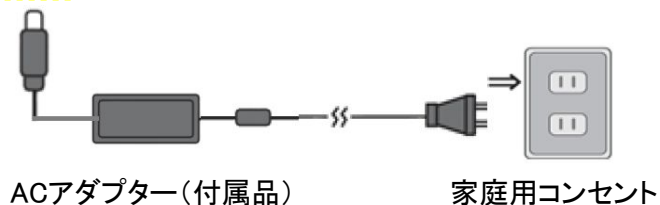
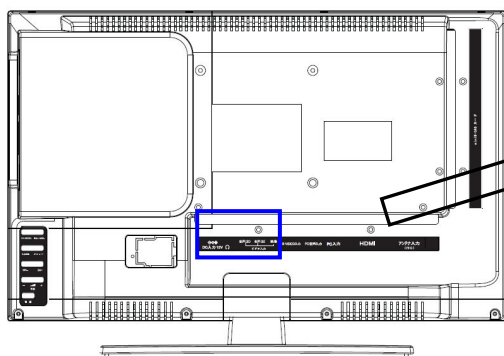
■チルト機能について

チルト機能：
本製品は台座を軸として前後に角度(垂直状態から前方に約5度、後方に約12度)を傾ける
ことが可能です。
※重心は前方向に傾けた場合は前方向に、後ろに傾けた場合は後ろに移動します。

・図は本製品の略図です。図は実際の製品とは異なる場合
　があります。
・時間経過によりゆるみが生じないよう固めに固定して
　おります。変更する場合は、怪我などに十分注意しゆっくり
　と角度を変えてください。
・仕様の可動角度以上に角度を変更をしようとすると本体が
　破損する恐れがあります。角度を変更される場合は、十分
　にご注意下さい。
・本製品に接続されているケーブル類、電源コードは抜いて
　から作業して下さい。接続したまま作業をすると感電の恐れ
　があります。
・角度を変更する場合は液晶が破損しないようにフレーム
　部分を持って角度を変更して下さい。
・設置場所に関しては、必ず水平な場所に設置して下さい。
**・取り付け不備、取り扱い不備による事故、損傷については
　保証の対象外となります。**

DVDを観る/CDを聴く

■DVD、CDを再生する

1、用意するもの

■本体の準備

①ACアダプターを本体背面の『DC入力12V』とご家庭のコンセントに接続し、
リモコン、または本体背面の「電源」ボタンを押して電源を入れると、
『電源LEDランプ』が緑色に点灯します。

②リモコンの 入力切換 または本体の
「入力切換」ボタンを押します。
「▲▼」ボタンで【DVD】を選択し、「決定」
ボタンを押して入力信号を【DVD】に
します。

DVDを観る/CDを聴く

③CD・DVDディスクを入れる時、ラベル（印刷面）を裏にして、図のように入れてください。
ディスクを取り出す時、本体の「ディスク取り出し」ボタンまたはリモコンの「▲取り出し」を押してください。

※注意：

●ディスクの挿入や取り出しは必ずDVDモードで操作してください。

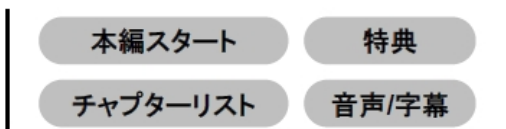
●ディスク挿入口がスロットイン方式（自動吸い込み式）になっているため、ディスクの向きを間違ったり無理矢理押して挿入すると本体やディスクの故障や破損・キズの原因となりますので、ご注意ください。

④『読込中・・・』と画面表示され、ディスクの読み込み、再生が始まります。
ディスクによって、ディスクメニューの操作が必要なものもあります。

■ディスクメニューからの操作

●ディスクによって自動的に再生が始まらずに、メニュー画面が表示されるものがあります。

1）メニュー画面が表示されます。
※オープニング映像の後、自動的にメニュー画面が表示され、この画面で停止状態になるディスクもあります。

本編スタート
特典
チャプターリスト
音声/字幕

2）「▲▼◀ ▶」でメニューから見たい項目を選択し、「決定」を押します。

●さらにメニュー画面がある時は②の操作を繰り返します。
※ディスクによってこの機能は使えません。

ディスクの再生中にできること

■音量の調節

リモコンの 音量+ 音量− を押します。

音量+ を押すと音が大きくなり、

音量− を押すと音が小さくなります。

音量レベルは00から100です。

■一時停止

1.リモコンの CH+/▶II を押します。
再生中押すと、一時停止します。
一時停止中は画面に表示がでます。

2.再度リモコンのを CH+/▶II 押すと、
通常の再生に戻ります。

画面の表示　一時停止

■消音

リモコンの 消音 を押します。

一時的に音を消す時は 消音 を押します。
もう一度押すと元の音量になります。
消音中は表示がでます。

画面の表示

■停止

1.リモコンの CH−/■ を押します。
停止中は画面に表示がでます。

画面の表示　停止

2.リモコンの CH+/▶II を押すと、
先ほど停止を押したところから、再生が
再開されます。

画面の表示　レジューム

3.「1」のとき再度 CH−/■ を押すと、
回転が止まり、完全に再生を停止します。

画面の表示　停止

ディスクの再生中にできること

■その他

無効なボタンを押すと、画面に
「無効なキー」と表示されます。

画面の表示

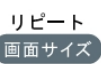
無効なキー

■次へ/前へ

再生中又は一時停止中に操作します。

1、次へ
リモコンの ▼ を押します。
次のチャプター（CDではトラック）に移動し、
再生を始めます。

画面の表示

スキップ送り

2、前へ
リモコンの ▲ を押します。
前のチャプター（CDではトラック）に移動し、
再生を始めます。

画面の表示

スキップ戻り

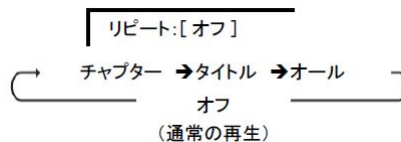
■リピート再生

リモコンの リピート 画面サイズ を押します。
ボタンを押すたびに下記のような種類の
リピートモードに切り換わります。

1、DVDの場合
a)リピート：[オフ]
　リピート再生しません。
b)リピート：[チャプター]
　選択したチャプターがリピート再生されます。
c)リピート：[タイトル]
　選択したタイトルがリピート再生されます。
d)リピート：[オール]
　ディスクのすべてがリピート再生されます。

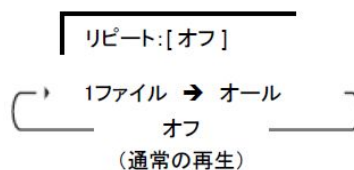
画面の表示

リピート：[オフ]

チャプター ➔タイトル ➔オール
オフ
（通常の再生）

2、CDの場合
a)リピート：[オフ]
　リピート再生しません。
b)リピート：[1ファイル]
　選択したファイルがリピート再生されます。
c)リピート：[オール]
　すべてがリピート再生されます。

画面の表示

リピート：[オフ]

1ファイル ➔ オール
オフ
（通常の再生）

ディスクの再生中にできること

■早送り/早戻し

再生中又は一時停止中に操作します。

1. リモコンの ▶ を押します。
早送り再生が始まり、画面には速度表示がでます。

ボタンを押すたびに、再生速度が下記の順序で切り換わります。

同様に ◀ を押すと早戻し再生をします。

※早送り/早戻し再生中、音声は出ません。

2. 早送り/早戻り再生中に ▶II を押すと通常の再生に戻ります。

画面の表示

■A-Bリピート

再生中リモコンの A-B を押すと、任意の部分を指定して繰返し再生をすることができます。

1. 再生中、繰返し再生の開始点(A)にしたいタイミングで A-B を押します。

2. 次に、リピート再生の終了点(B)にしたいタイミングで A-B を押すと、A-Bリピート再生が始まります。

注:A-Bリピート再生中、「リピートA-B」の画面表示は消えません。

3. A-Bリピート再生中にもう一度 A-B を押すと、A-Bリピート再生を終了します。

■音声切換

複数の音声を記録したDVDを再生する場合は、音声の選択ができます。

再生中リモコンの 音声切換 を押します。
ボタンを押すたびに音声の番号、種類、音声言語が表示され、音声を切換えることができます。
※この選択は複数の音声データが入っているDVDを再生する場合のみ有効です。
※ディスクによってはこの機能は使えません。
※ディスクによっては、ディスクメニューで選択する場合もあります。

ディスクの再生中にできること

■プログラム再生

再生中リモコンの プログラム 番組情報 を押すと、プログラム設定ウィンドウが表示されます。

1、DVDの場合
タイトル、チャプターナンバーを方向ボタンと数字ボタンを使用して入力し、カーソルを合わせ、「再生」を選択し、 決定 を押すとプログラム再生を開始します。

T	C	T	C	T	C	T	C
1	--:--	5	--:--	9	--:--	13	--:--
2	--:--	6	--:--	10	--:--	14	--:--
3	--:--	7	--:--	11	--:--	15	--:--
4	--:--	8	--:--	12	--:--	16	--:--
				再生		クリア	

※T:タイトル　　C:チャプター

もう一度 プログラム 番組情報 を押し、方向ボタンで「クリア」を選択し、 決定 を押して、再度 プログラム 番組情報 を押すと、プログラム再生を終了します。

2、CDの場合

1 ----	5 ----	9 ----	13 ----
2 ----	6 ----	10 ----	14 ----
3 ----	7 ----	11 ----	15 ----
4 ----	8 ----	12 ----	16 ----
		再生	クリア

トラックナンバーを方向ボタンと数字ボタンを使用して入力し、プログラムを設定します。

プログラム再生の開始と、終了はDVDと同様の操作です。

■時間
再生中リモコンの 時間 番組表 を押すと、現在のタイトル番号、チャプター数が表示されます。
画面の表示: DVD タイトル 00/03 チャプター 000/024 00:00:00

「 ◀ ▶ 」ボタンでタイトル/チャプター/時間にカーソルを移動し、見たいタイトルナンバー/チャプターナンバー/時間を入力し、 決定 を押すとその場面にジャンプします。

もう一回 時間 番組表 を押すと、画面表示が消えます。

■字幕切換
複数の言語による字幕を記録したDVDビデオを再生する場合、字幕言語の選択ができます。

再生中リモコンの 字幕 を押します。ボタンを押すたびに字幕の番号、字幕言語が表面に表示され、字幕を切り換えることができます。

※この選択は複数の字幕データが入っているDVDを再生する場合のみ有効です。
※字幕の種類および数はソフトより異なります。
※ディスクによってはこの機能は使えません。
※ディスクによっては、ディスクメニューで選択する場合もあります。

ディスクの再生中にできること

■画面表示

再生中リモコンの 画面表示 を押します。

ボタンを押すたびに現在のタイトルと

チャプターの経過時間・残り時間を表示します。

さらに押すと画面表示が消えます。

画面の表示

a） DVD タイトル1/3 チャプター1/24 00:00:27

b） 1/3 日 2CH 2/2 日 オフ

c） DVD タイトル1/3 チャプター1/24 C -00:03:38

d） DVD タイトル1/3 チャプター1/24 T 00:00:59

e） DVD タイトル1/3 チャプター1/24 T -01:37:59

表示なし

■DVDに表示されているマークについて

DVDのディスクレーベル、またはパッケージには

以下のようなマークが表示されています。

マーク	意　味
2	記録されている音声の数
2	記録されている字幕言語の数
3	記録されているアングル数
16:9 LB	記録されている映像のアスペクト比（縦横比） ※4：3PS、4：3LB映像のDVDディスクは対応いたしません。
2	リージョン番号（地域番号）を表します。本機はリージョン番号「2」と表示されたディスクを再生することができます。

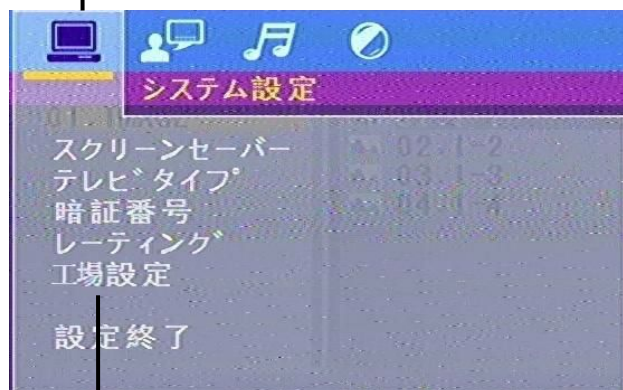
DVDによって、リージョン番号が指定されているものがあります。リージョン番号は地域を限定するもので、日本はリージョン番号「2」が指定されています。これ以外のリージョン番号マークのついたディスク再生しようとすると、画面に再生できない警告表示がでます。

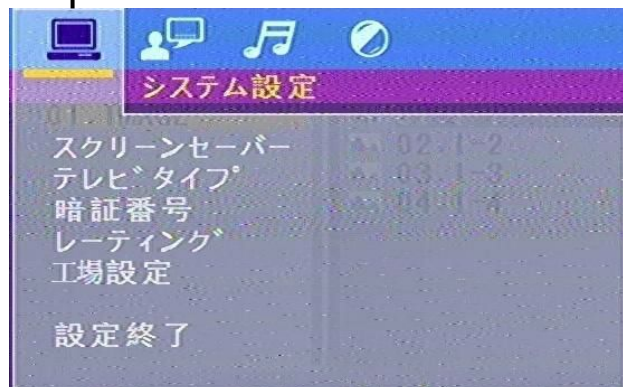
設定を変更したい時

システム設定ではさまざまな設定をすることができます。ただし、各設定はディスク情報が優先されます。一度設定すると、次回設定を変えるまで本体メモリーに保存されます。

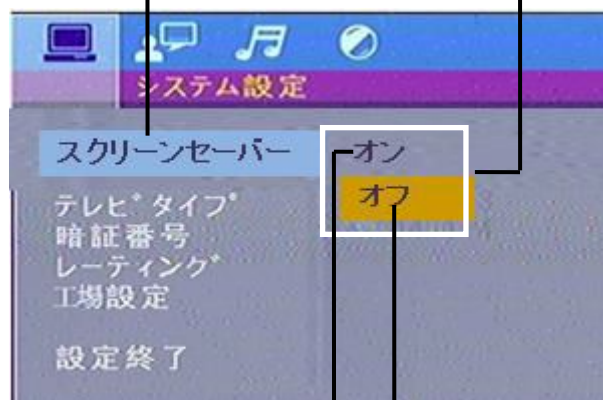
※設定変更をする際はDVDディスクを取り外した状態で行ってください。

■設定方法

1、DVDモードでリモコンの メニュー を押します。
設定画面が表示されます。

2、リモコンの「 」でメインメニューを選択します。

（マークの下にオレンジの影が表示されます。）

3、リモコンの「▲▼」でサブメニュー欄にカーソルを移動します。

4、リモコンの「▲▼」でサブメニューを選択し、 決定 を押します。
設定メニューが表示されます。

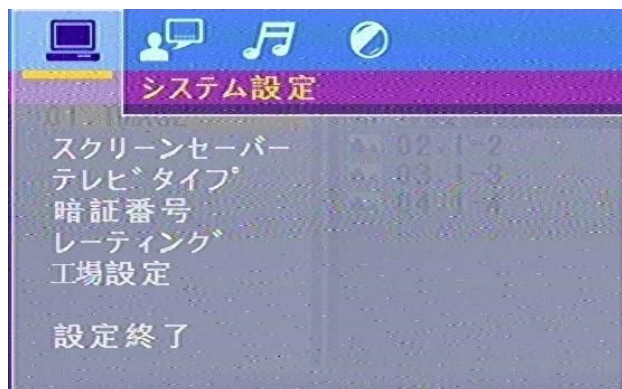
5、リモコンの「▲▼」で設定メニューを選択し、 決定 を押します。

a)他にも設定するときは「▲▼」を押し
４以下の操作を繰り返します。

b)他のメインメニューを設定するときには、
　　を押し、サブメニューに戻り、▲を
押してメインメニューから選択します。

6．システム設定を終了するときは、
「設定終了」を選択し、 決定 を押します。

または再度 を押します。

設定を変更したい時

■システム設定

1、スクリーンセーバー

モニターの画面焼けを防ぐため、停止
状態のまま約5分経過すると、DVDロゴ
を画面上で動かします。
●オン　　　●オフ

2、テレビタイプ

画面のサイズを設定します。
●4:3/PS:本機では対応しておりません。
●4:3/LB:本機では対応しておりません。
●16:9:横縦比16:9のワイド画面に
　　　設定されます。

3、暗証番号

初期設定ではパスワードは『0000』です。
「0000」を入力して、 決定 を押します。

4、レーティング

視聴制限のレベルを設定します。
ディスクの表示をご確認ください。

1 KIDSAFE(子供)

2 G(一般)

3 PG（児童に不適切な箇所あり、
　　保護者の付き添いが望まれる）

4 PG-13（13歳以下の児童には推奨
　　されない、保護者の付き添い
　　が望まれる）

5 PG-R（不適切な箇所あり、保護者
　　の付き添いが望まれる）

6 R(17歳以下の青少年は親や成人
　　の保護者同伴が望まれる）

7 NC-17(17歳以下は観賞禁止）

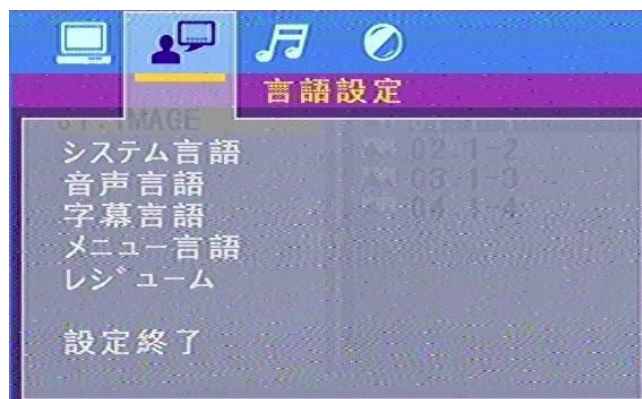
8 ADULT（視聴制限なし）

レーティング設定は暗証番号を入力して、
ロックを解除してから行ってください。

5、工場設定

工場出荷時の設定に戻します。
●復元

設定を変更したい時

■言語設定

1、システム言語

システム言語を設定します。
●英語　　●日本語

2、音声言語

ディスクメニューより設定してください。
（ディスクメニューで設定した言語が優先されます。）
●英語　　●日本語

3、字幕言語

ディスクメニューより設定してください。
（ディスクメニューで設定した言語が優先されます。）
●英語　　●日本語　　●オフ

4、メニュー言語

ディスクメニューより設定してください。
（ディスクメニューで設定した言語が優先されます。）
●英語　　●日本語

5、レジューム

または電源を切る直前の状態を保存し、次に再生する時に前回停止した直前の映像から再開する機能です。
●オン　　●オフ

※注意

・「停止ボタンを2回押す」または「停止ボタンとリモコンの電源ボタンを続けて押す」とレジューム機能が解除される場合が有ります。

・レジューム機能をご使用になりたい場合でリモコンで電源を切る場合は、「停止ボタン」を押さずに電源をお切りください。

・ディスクを入れ換えた場合は機能しません。

設定を変更したい時

■音声設定

1、DUAL モノラル

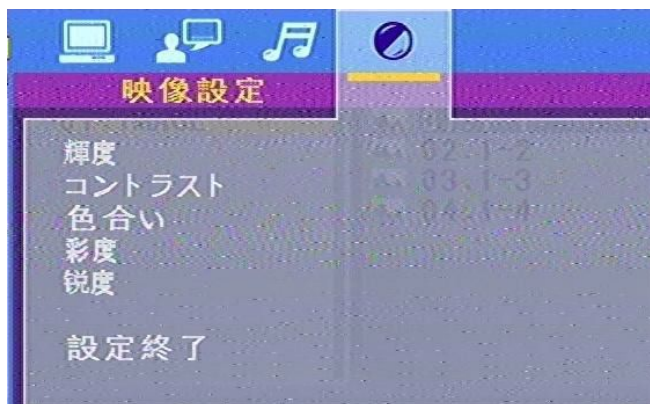
ステレオのチャンネル数を設定します。

●ステレオ：通常のステレオ

●左音声：左側の音のみ両側の
スピーカーから出る

●右音声：右側の音のみ両側の
スピーカーから出る

●左右混合：左右ミックスのモノラル

■映像設定

1、輝度

画面の明るさを設定します。
●0～12の間で設定します。
「▲▼」ボタンで数値を調整し、決定 を
押すと設定が保存されます。
サブメニューに戻るには、を押します。

2、コントラスト

画面のコントラストを設定します。
●0～12の間で設定します。

3、色合い

画面の色合いを設定します。
●-6～+6の間で設定します。

4、彩度

画面の彩度を設定します。
●0～12の間で設定します。

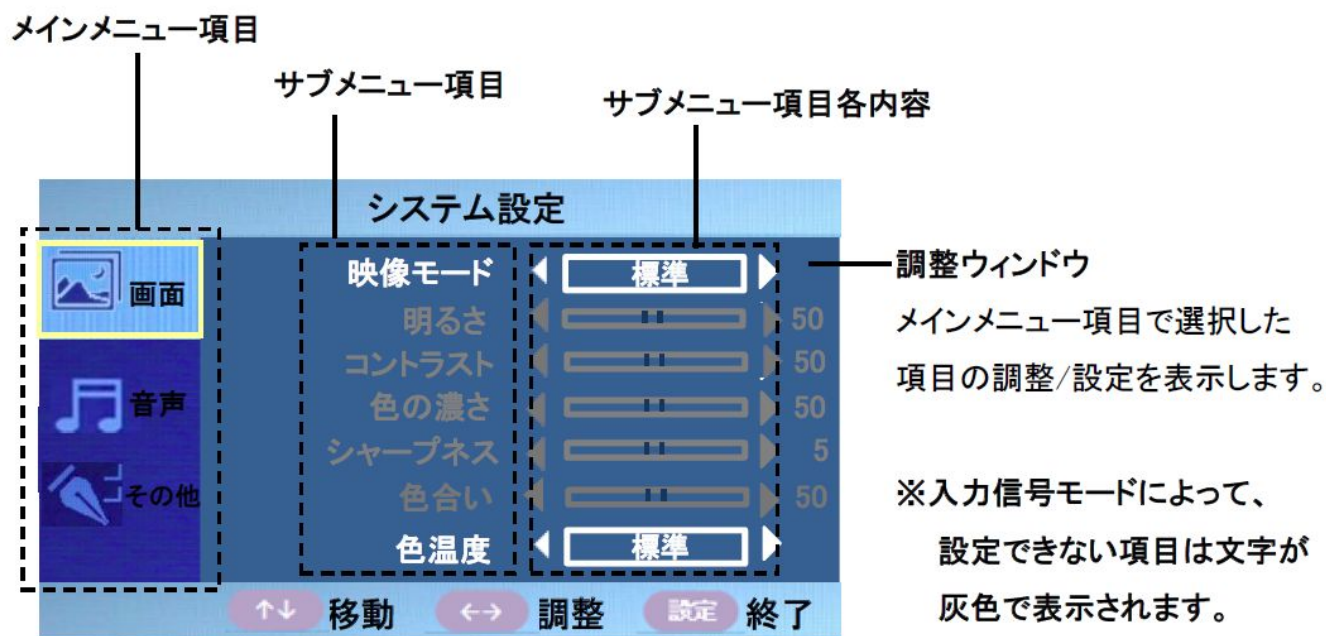
5、鋭度

画面の鋭度を設定します。
●0～8の間で設定します。

システム設定・・・基本操作

システム設定では本製品にさまざまな設定をすることができます。
入力信号は、DVD、TV、HDMI、AV 、PCに設定できます。
一度設定すると、次回設定を変えるまで本体メモリーに保存されます。

※全ての操作はリモコンで行います。

1、リモコンの「 決定 」ボタンを押すと、下記画面が表示されます。

2、「▲▼」ボタンでメインメニュー項目を選択し、「 ▶ 」ボタンを押して、サブメニュー項目の第一項目が黄色枠で表示されます。

3、「▲▼」ボタンで設定したいサブメニュー項目を選択します。

4、「◀ ▶ 」ボタンを押すごとに、サブメニューの内容が変わり、設定の調整を行います。

5、「 設定 」ボタンを押し、調整の内容を保存し、メインメニュー項目に戻ります。

「 設定 」ボタンを二回押すと、設定画面を終了します。サブメニュー項目各内容

※注意

・入力モードによって設定が行える項目が異なります。

・サブメニューにより、設定の変更方法は異なる場合があります。

・入力モードによって、設定できない項目があります。設定できない項目はグレーで表示されます。

システム設定・・・画面

<table>
<tr><th colspan="2">調整モード</th><th rowspan="2">調整内容</th></tr>
<tr><th>メインメニュー</th><th>サブメニュー</th></tr>
<tr><td rowspan="4">画面</td><td rowspan="2">映像モード</td><td>映像モードを設定します。</td></tr>
<tr><td>●標準
●強調
●ソフト
●明るい
●ユーザー
ユーザーを選択すると、明るさ・コントラスト・
色の濃さ・シャープネス・色合いの設定ができます。

・明るさ
・コントラスト
・色の濃さ
・シャープネス
・色合い
※入力モードにより各項目の初期値が変わります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">色温度</td><td>色温度を設定します。</td></tr>
<tr><td>●標準　●暖色　●寒色</td></tr>
</table>

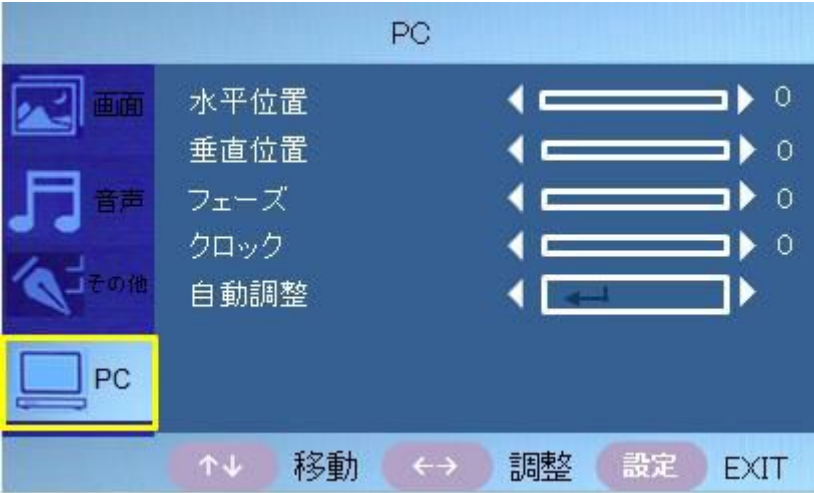
システム設定・・・音声

調整モード		調整内容
メインメニュー	サブメニュー	
音声	音声モード	音声モードを設定します。
		●標準 ●音楽 ●スピーチ ●映画 ●ユーザー ユーザーを選択すると、低音・高音・イコライザーの設定ができます。 ・低音 ・高音 ・イコライザー (「決定」ボタンを押してEQの設定画面に入ります。)
	バランス	左右のバランスを設定します。
		音声のバランスを－50から＋50まで調整します。
	色温度	音のAVLを設定します。
		「オン」にした場合、激しい音を安定している音に調整して出します。
		●オフ
		●オン

システム設定・・・その他

調整モード		調整内容
メインメニュー	サブメニュー	
その他	言語	OSD言語を選択します。
		●日本語　　●ENGLISH
	OSD表示時間	OSD表示時間を設定します。
		●5秒　10秒　30秒　60秒　　●常時
	画面サイズ	画面サイズを設定します。 ※PCモードでは対応しておりません。 ※AVモードではフル・4:3・14:9・ズーム・自動より設定します。 ●フル ●4:3

システム設定・・・PC

●PCモードで「 」ボタンを押し、PC設定画面が表示されます。

※自動調整機能により、
各項目の初期値が変わります。

調整モード		調整内容
メインメニュー	サブメニュー	
PC	水平位置	**画面を左右方向に調整することができます。** ・画面を左方向に移動する場合 「 ◀ 」ボタンを押して調整します。 ・画面を右方向に移動する場合 「 ▶ 」ボタンを押して調整します。
	垂直位置	**画面を上下方向に調整することができます。** ・画面を上方向に移動する場合 「 ▶ 」ボタンを押して調整します。 ・画面を下方向に移動する場合 「 ◀ 」ボタンを押して調整します。
	フェーズ	**フェーズ調整をします。** ◀ ▶ ボタンで調整します。
	クロック	**クロック調整をします。** ◀ ▶ ボタンで調整します。
	自動調整	**自動映像調整を実行します。**

SDカード

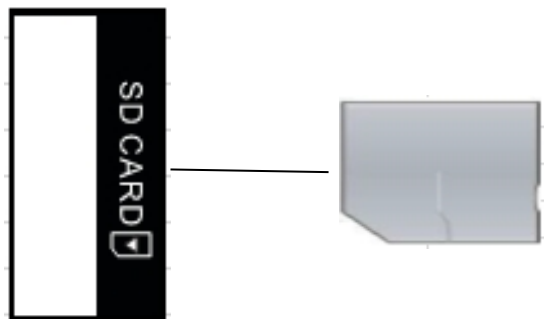
●本製品ではSDカードに記録されたJPEG、MP3・WMA、AVI(最大対応解像度:720×480)ファイルを再生することができます。

※本製品はSDカードに記録されているデータを削除することはできません。

⚠注意

●本製品でSDカードを使う時、以下の注意事項を必ずお守りください。間違えた使い方においてのデータの損失、SDカードの破損については保証いたしかねます。
●SDカードの読込み中、再生中又は動作終了以前に、取り出したり、電源を切ったりしないでください。データが破損することがあります。
●本製品で再生できるのはJPEG、MP3、WMA、AVI(最大対応解像度:720×480)形式です。それ以外の形式で記録されたカードは使わないでください。
●SDカードの種類、メーカー、年式等によっては正しく動作しない場合がございます。
●大切なデータはバックアップすることをお勧めいたします。

■SDカードの再生

1. 本体右側のSD/CARDスロットにSDカードのラベル面を裏に、金色の端子を手前にして挿入します。

2. DVDモードで、リモコンの を二回押し、「▲▼」ボタンで【CARD】選択し を押してください。

※音楽・写真・動画の再生中にリモコンのメニューボタンを2回押すと、DVDとSDカードの選択モード画面へ戻ります。

※戻るボタンは機能しませんので、メニューボタンを使用してください。

■基本操作

下記の画面が表示されます。

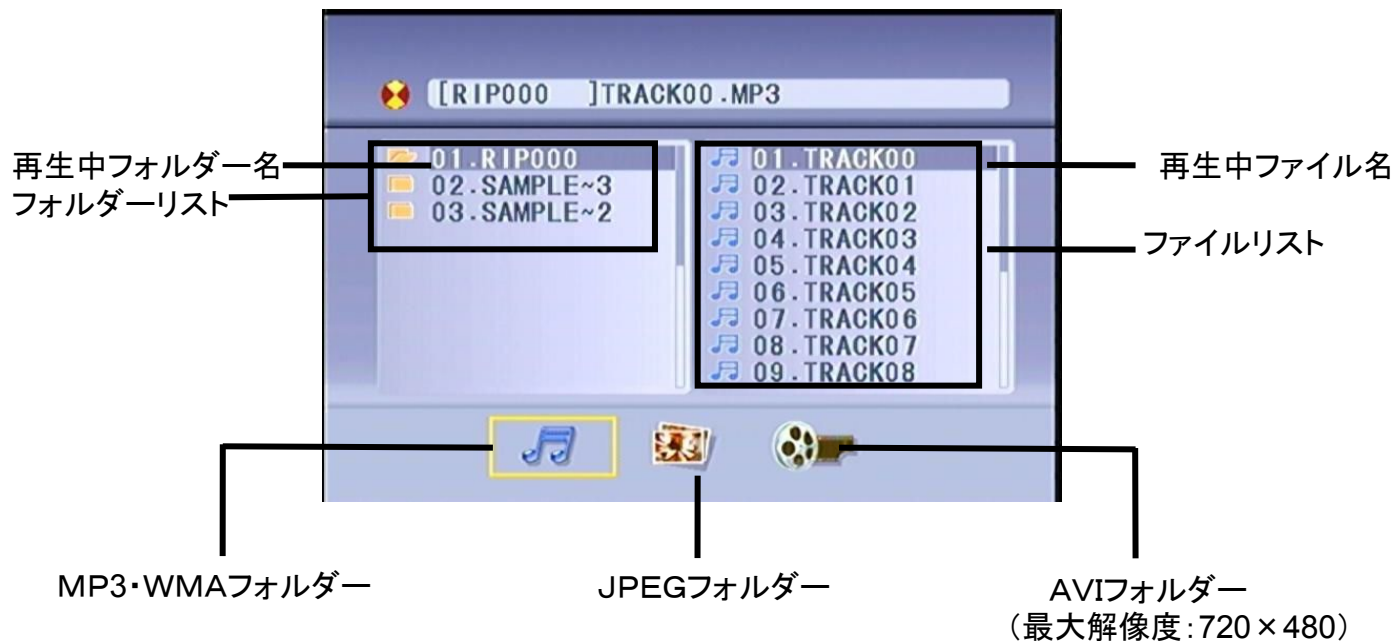
この画面でフォルダーやファイルを選択して再生するファイルを決定します。

㊟外部メディア再生される時、MP3・WMAファイルが保存される場合、自動的にMP3・WMA

ファイルが優先再生されます。

再生画面（例）

再生中フォルダー名
フォルダーリスト
再生中ファイル名
ファイルリスト

MP3・WMAフォルダー　JPEGフォルダー　AVIフォルダー
（最大解像度：720×480）

※注意：

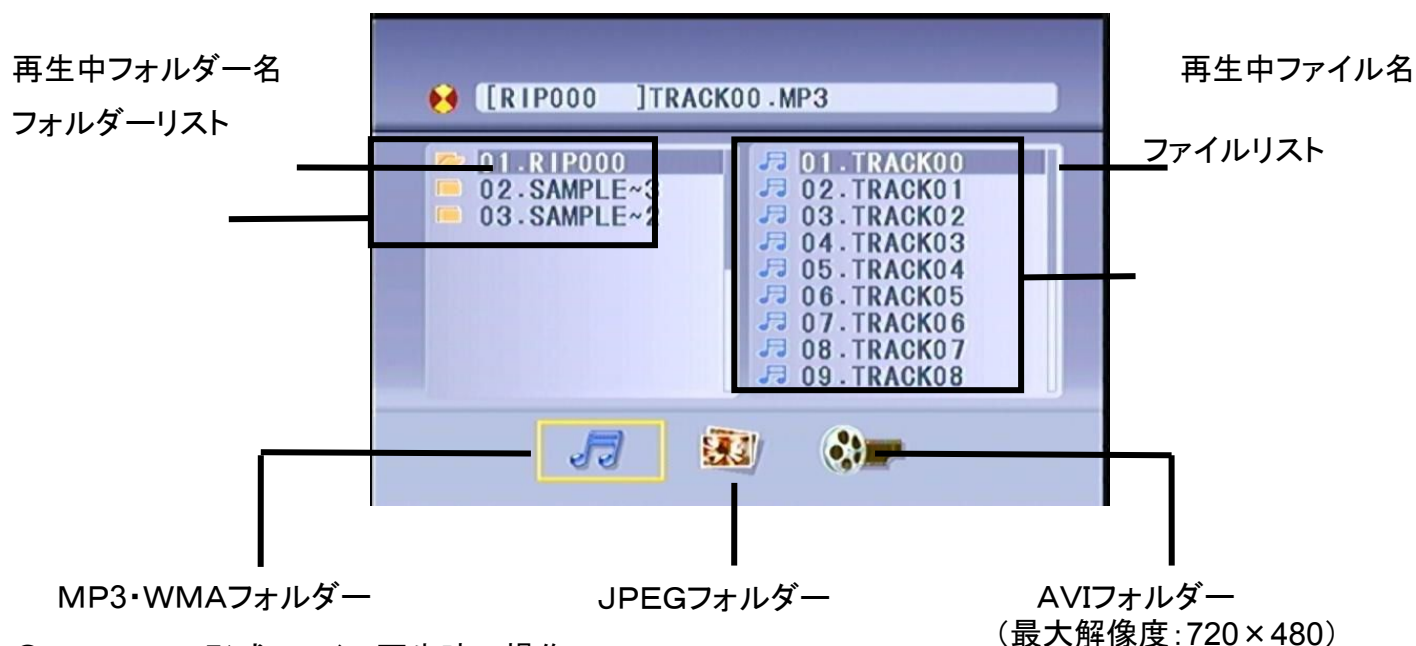
再生のSDカードにMP3・WMA形式・JPEG形式・AVI形式のファイルが同時保存された

場合は、内容によってそれぞれ自動的にMP3・WMAフォルダー・JPEGフォルダー・AVI

フォルダーに振り分けされます。

本機で再生できないファイルは表示されません。

■MP3・WMA形式ファイルの再生

MP3・WMA形式ファイルの再生（例）

●MP3・WMA形式ファイル再生時の操作

※すべての操作はリモコンで行います。

1、フォルダーを選択するには、
「▲▼」ボタンでカーソルを移動して、選択したフォルダーを「決定」ボタンを押します。
右側にそのフォルダーのファイルリストが表示されます。

2、カーソルをファイルリストに移動するには、フォルダーを決定した後、「▶」ボタンを押します。

3、ファイルを選択するには、
「▲▼」ボタンでカーソルを移動し、「決定」ボタンを押して決定し、ファイルの再生を開始します。

4、カーソルをファイルリストからフォルダーに戻すには、「◀」ボタンを押します。

5、◎「決定」ボタン：
選択の決定に使用し、選択されたフォルダー・ファイルがハイライト表示されます。

※注意：

MP3・WMAフォルダーからJPEGフォルダー/AVIフォルダーに切換するには、MP3・WMA
フォルダーに黄色の枠が表示されるまで「◀」移動ボタンを押してください。
MP3・WMAフォルダーは黄色の枠が表示されてから、「▶」移動ボタンを押して、
JPEGフォルダー/AVIフォルダーに移動し、「決定」ボタンを押して決定します。

■DVDと同様の操作

●一時停止・・・・・・・・・・30ページ参照

●停止・・・・・・・・・・・・・・・30ページ参照

●音量＋/音量-・・・・・・・・30ページ参照

●消音・・・・・・・・・・・・・・・30ページ参照

●A-Bリピート・・・・・・・・・32ページ参照

■リピート再生

リモコンの [リピート] を押します。

ボタンを押すたびにリピートモードが
切り換わります。

リピート:[オフ]
→リピート:[1ファイル]

→リピート:[フォルダー]

→リピート:[オール]

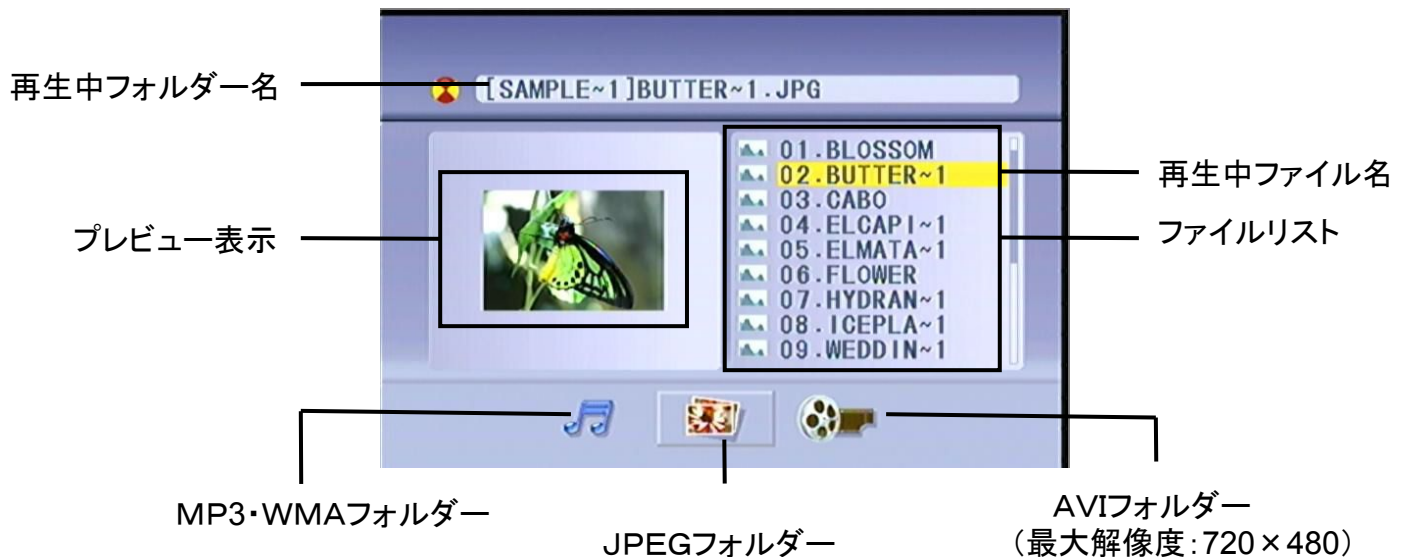
●リピート:[オフ]
リピート再生機能をオフにします。

●リピート:[1ファイル]
選択した曲だけリピート再生されます。

●リピート:[フォルダー]
選択したフォルダーがリピート再生されます。

●リピート:[オール]
すべてのMP3・WMAファイルがリピート再生されます。

■JPEGファイルの再生

JPEG形式ファイル再生画面(例)

●JPEG形式ファイル再生時の操作　※すべての操作はリモコンで行います。

1、フォルダーを選択するには、
「▲▼」ボタンでカーソルを移動して、選択したフォルダーを「決定」ボタンを押して決定します。

右側にそのフォルダーのファイルリストが表示されます。

2、カーソルをファイルリストに移動するには、
フォルダーを決定した後、「▶」ボタンを押し、左側にプレビュー表示されます。

3、ファイルを選択するには、
「▲▼」ボタンでカーソルを移動し、「決定」ボタンを押して決定し、画像が全画面表示されます。

4、カーソルをファイルリストからフォルダーに戻すには、「◀」ボタンを押します。

5、「決定」ボタン:
選択の決定に使用し、選択されたフォルダー・ファイルがハイライト表示されます。

6、全画面表示中、「CH-/■」ボタンを押すと、ファイルリストに戻ります。

※注意:

JPEGフォルダーからMP3・WMAフォルダー/AVIフォルダーに切換するには、MP3・WMA

フォルダーに黄色の枠が表示されるまで「◀」移動ボタンを押してください。

MP3・WMAフォルダーは黄色の枠が表示されてから、「決定」ボタンを押して決定します。

AVIフォルダーに移動するには、「▶」ボタンで移動します。

■DVDと同様の操作

●一時停止・・・・・・・・・・30ページ参照

■リピート再生

リモコンの を押します。

ボタンを押すたびにリピートモードが
切り換わります。

リピート:[オフ]

→リピート:[1ファイル]

→リピート:[フォルダー]

→リピート:[オール]

●リピート:[オフ]
リピート再生機能をオフにします。

●リピート:[1ファイル]
選択した曲だけリピート再生されます。

●リピート:[フォルダー]
選択したフォルダーがリピート再生されます。

●リピート:[オール]
すべてのMP3・WMAファイルがリピート再生されます。

■画像の回転

●▲を押すと画像が上下反転します。

●▼を押すと画像が左右反転します。

● ◀ ▶ を押すと画像が回転します。

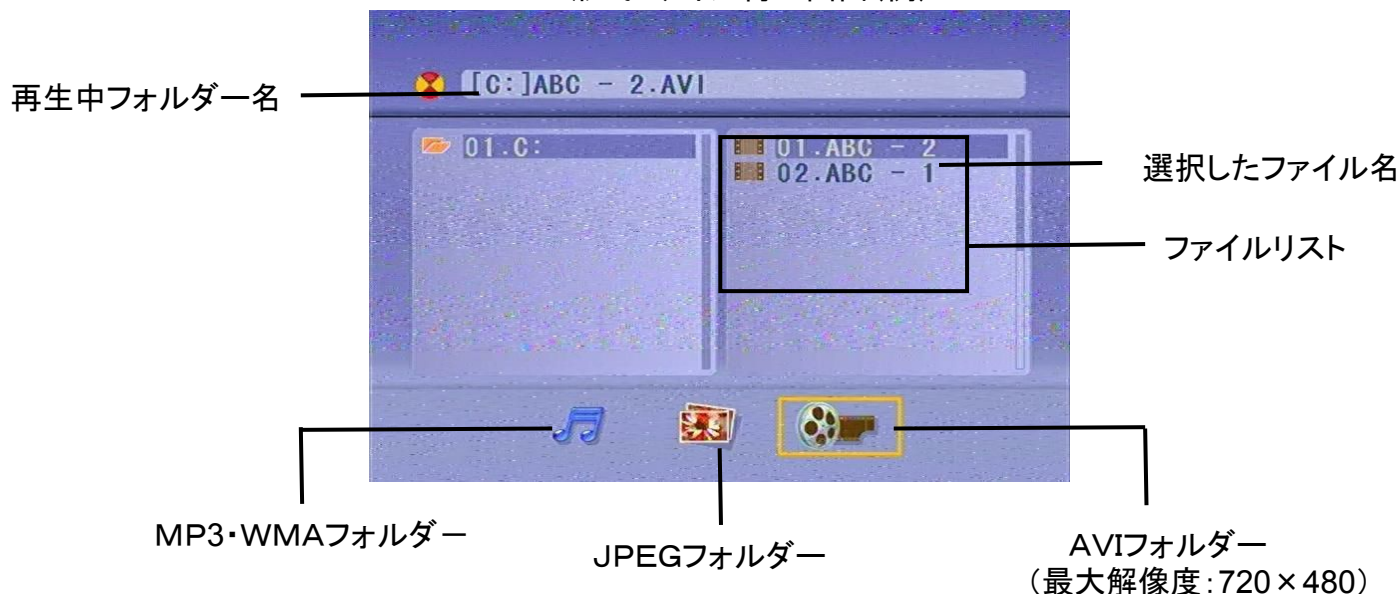
※注意:

JPEGデータの読込みや再生には、

データの大きさにより、時間がかかる

場合があります。

■AVIファイルの再生

AVI形式ファイル再生画面（例）

●AVI形式ファイル再生時の操作　　※すべての操作はリモコンで行います。

1、フォルダーを選択するには、

「▲▼」ボタンでカーソルを移動して、選択したフォルダーを「決定」ボタンを押して決定します。

右側にそのフォルダーのファイルリストが表示されます。

2、カーソルをファイルリストに移動するには、

フォルダーを決定した後、「▶」ボタンを押します。

3、ファイルを選択するには、

「▲▼」ボタンでカーソルを移動し、「決定」ボタンを押して決定し、ファイルの再生を開始します。

4、カーソルをファイルリストからフォルダーに戻すには、「◀」ボタンを押します。

5、「決定」ボタン：

選択の決定に使用し、選択されたフォルダー・ファイルがハイライト表示されます。

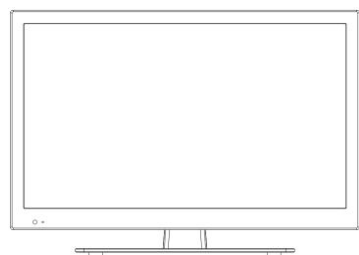
■DVDと同様の操作

●一時停止・・・・・・・・・・30ページ参照
●停止・・・・・・・・・・・・・・30ページ参照
●音量＋/音量-・・・・・・・・30ページ参照
●消音・・・・・・・・・・・・・・30ページ参照

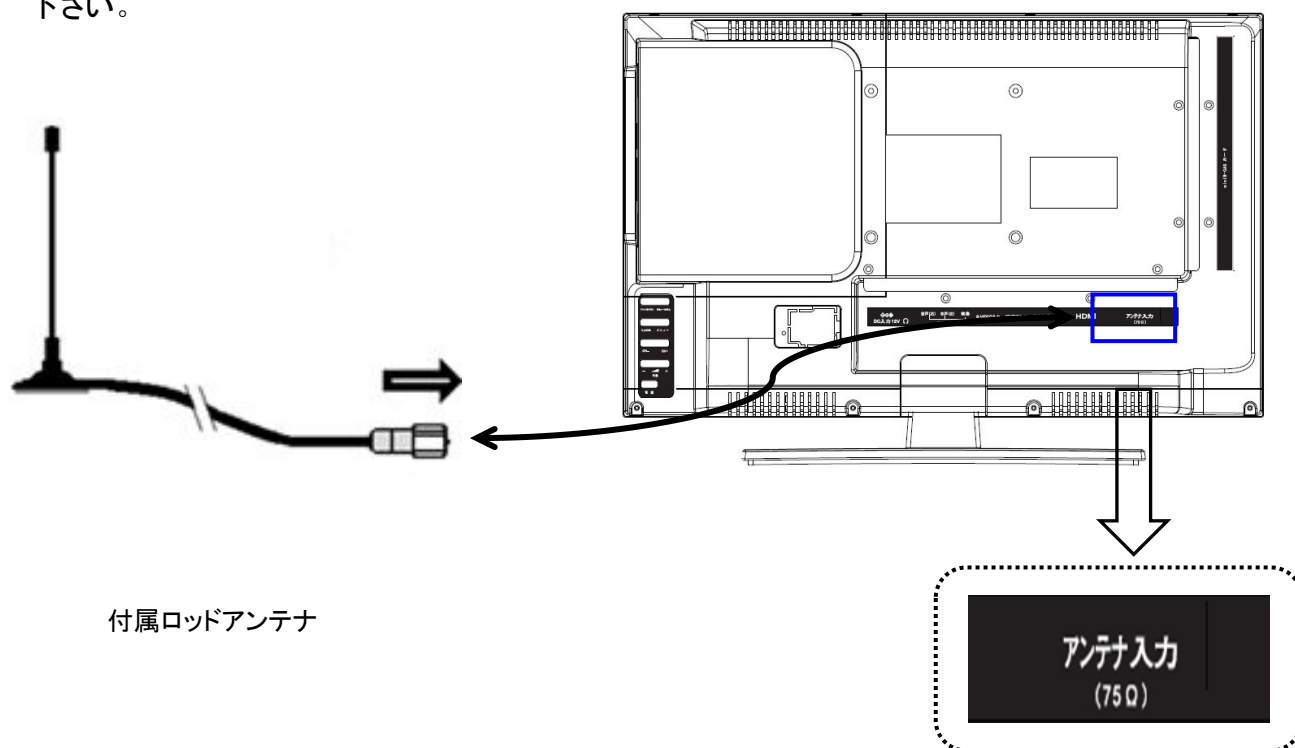
■停止

再生中にリモコンの CH-/■ を押すと、
ファイルリストに戻ります。

テレビを観る・・・アンテナを接続する

1、用意するもの

2、アンテナを接続する

（1）付属のロッドアンテナを使う場合

本体に付属の外付け受信用ロッドアンテナを接続し、窓際など電波の受信しやすい場所に置いてください。
お車でご使用の際は、なるべく高い位置に設置したほうが受信状況はよいですが、
お車によって状況は異なりますので、安全運転に支障のない範囲で受信状況のよい設置場所をお探し
下さい。

アンテナへ接続

付属ロッドアンテナのコネクターを本体左側面のアンテナ端子に差込み右へ回して、
しっかりと固定してください。

テレビを観る・・・受信する前に

■本機で受信できるテレビ放送

本機では、地上デジタル放送を受信することができます。
（ＢＳ・110度ＣＳデジタル放送を受信することはできません。）

地上デジタル放送の特徴:

地上波のUHF放送（13ch～62ch）の周波数帯域を使った放送です。
最新のデジタル技術を活用することで、高画質（ハイビジョン放送）・多チャンネルの
テレビ放送が可能です。また、音声信号を効率よく圧縮して放送することができ、
原音に近い高音質な音声が楽しめます。
（本機では対応していない場合があります。）

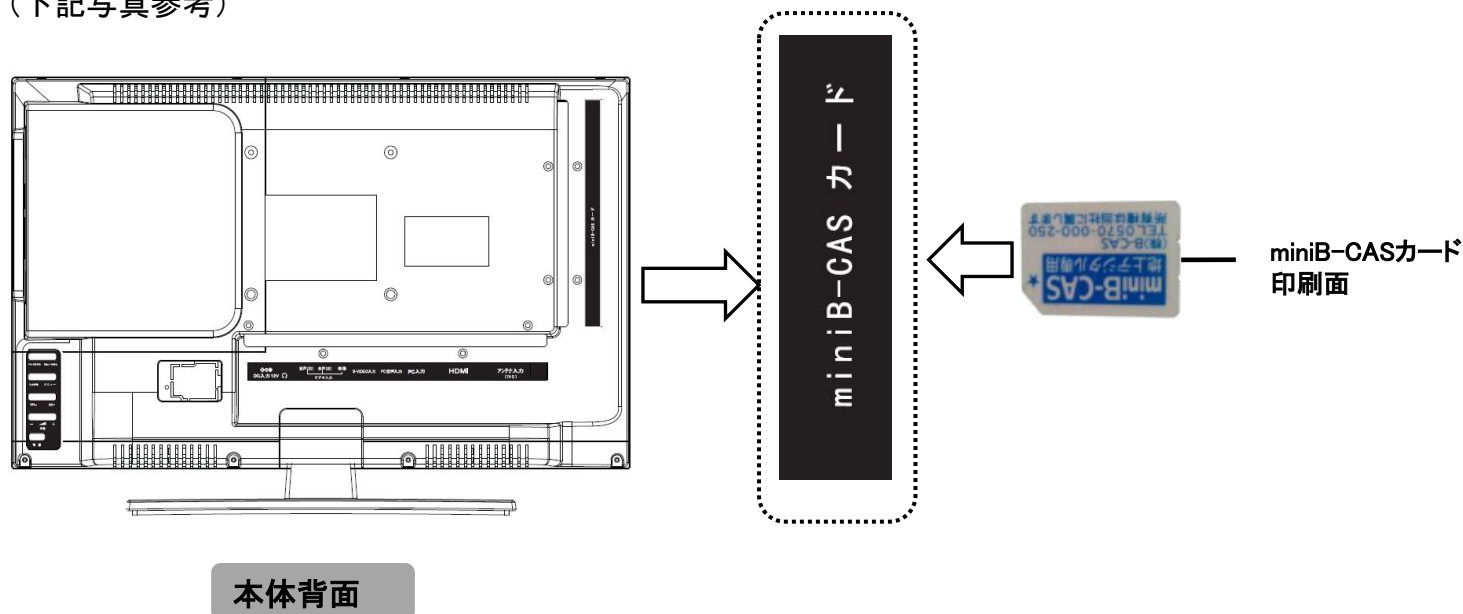
お知らせ

●地上デジタル放送を受信するには、本機の他に地上デジタル放送の受信に対応した
UHFアンテナが必要です。
●CATV（ケーブルテレビ）の受信は、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が
必要です。接続やご利用方法については、機器や会社ごとに異なります。
ご加入しているCATV会社にお問い合わせください。
●本機は地上デジタル放送の双方向通信サービスには対応していません。
また、本機でペイ・パー・ビュー（PPV)番組を購入することはできません。
●放送によっては、画面の上下左右に黒い帯が表示されます。

テレビを観る・・・miniB-CASカードを入れる

■miniB-CASカードを入れる

付属品のmini B-CASカードを出します。印刷面を手前に、IC面を液晶画面側に、切り欠きがある方を奥にして、「カチッ」と音がするまで入れてください。

（下記写真参考）

■miniB-CASカードを取り出す

mini B-CASカードを取り外す場合、mini B-CASカードを押すとカードが飛び出します。
そのまま抜いてください。

本機に同梱されているminiB-CASカードは、地上デジタル放送の受信や「放送局からのお知らせ」の受信などに必要です。

miniB-CASカードは常時、本機に挿入しておいてください。
miniB-CASカードの登録のしかたや取扱いについて詳しくは、カードが貼ってある説明書をご覧ください。説明書は、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

※注意：
●miniB-CASカードスロットにminiB-CASカード以外の物を入れないでください。
　故障や破損の原因となります。

●使用中にminiB-CASカードを抜き差ししないでください。

お知らせ
●miniB-CASカードのカード破損、紛失、盗難などの場合、及び本機の廃棄などで
　カードが不要になった場合や登録名義を変更する場合は、
（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにご連絡ください。
　お問い合わせ先については、カードが貼ってある説明書をご覧ください。

テレビを観る･･･TVモードで再生

スキャン操作は初めて使用する時に必ず行う操作です。スキャンを行わないとテレビ放送を受信することができません。また、移動により放送エリアが変わった時にもスキャンをやり直してください。

スキャン実行中の表示

■テレビを初めて使用する前のスキャン操作

1．TVモードにする。

①電源を入れる。

②リモコンのモードボタンでTVモードにする。

2．スキャンの実行

①リモコンのスキャンボタンでスキャンを開始する。

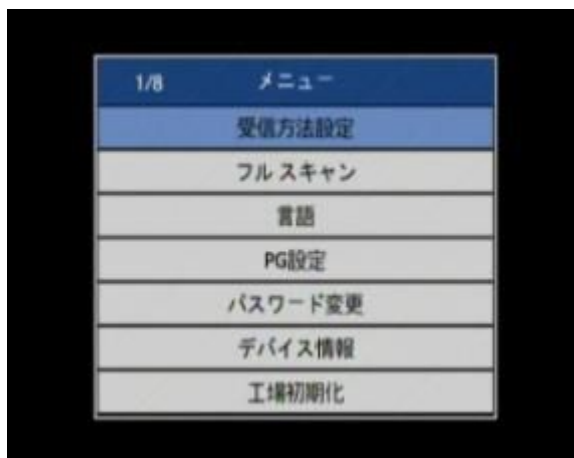
②スキャンが完了したら自動的に受信を開始します。

・家庭用アンテナでも電波状況によっては受信困難な場合もあります。
アンテナケーブルはしっかりと接続するようにお願いいたします。
・車載でスキャンする際は、見晴らしの良い電波の受信環境の良い場所で車を静止させてから実施して下さい。受信環境が悪い所でスキャンをおこなったり、スキャン中に移動したりすると放送局が受信出来ない場合があります。
・遠くへ移動するなど、受信できる放送局が変わる場合は、受信環境などで放送局の検索がスムーズにいかないことがあります。この場合はスキャンボタンにより、再度受信環境の良い所で暫く静止してスキャンを行ってください。

3．詳細な設定

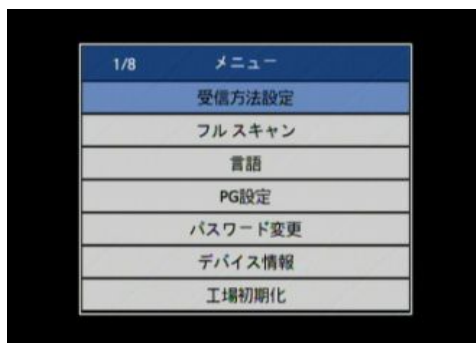
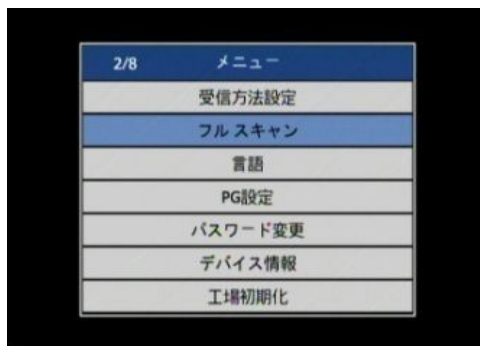
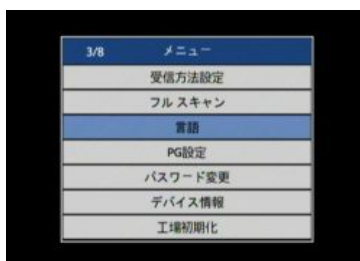
詳細な設定をする場合はリモコンの設定ボタンを押して設定メニューを表示して下さい。

リモコンの▲▼ボタンで、メニュー項目の中から設定を変更したい項目を選びます。

メニュー画面

受信方法設定画面

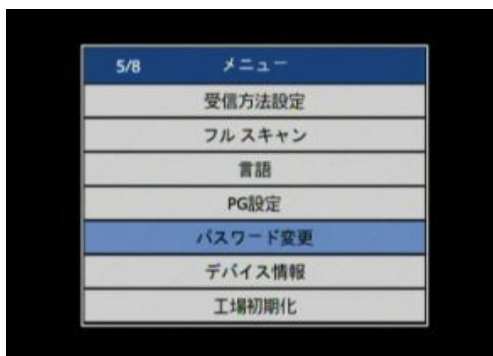
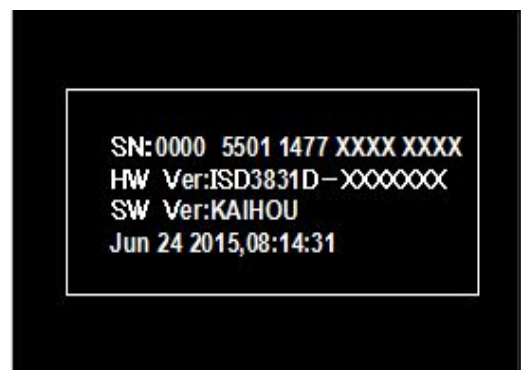
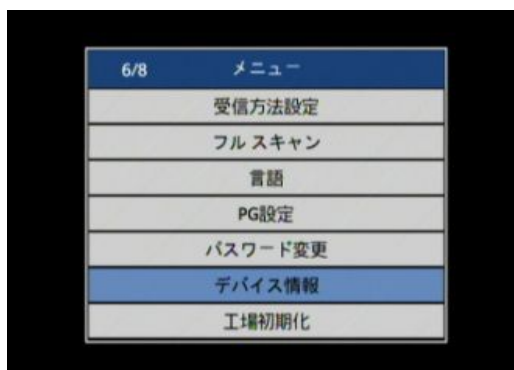
■**テレビの操作メニュー**
TVモード時、設定ボタンを押し、設定のメニュー画面にします。

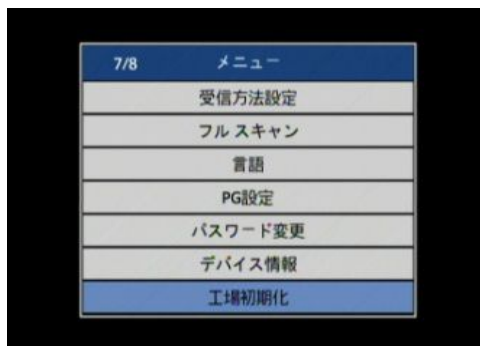
受信方法設定
ワンセグ/フルセグ/自動切替を選択、決定ボタンで受信方法を決定します。

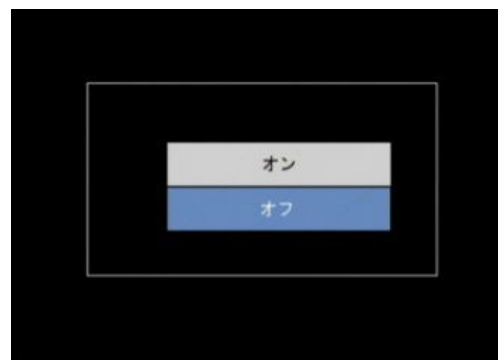
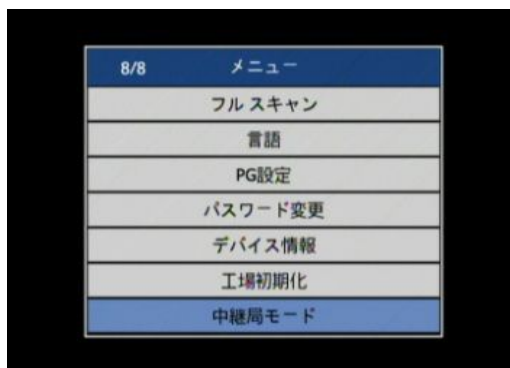
ワンセグはワンセグのみ、フルセグはフルセグのみを受信します。
自動を選択すると、電波の強さによってワンセグ／フルセグを自動で切り替えます。

フルスキャン
決定ボタンを押すと、スキャンを開始します。

言語
設定メニューを日本語表示にするか、英語表示にするかを選択します。

PG設定
視聴制限の設定を行います。

1、▲▼ボタンでメニュー項目から「**PG設定**」を選択し決定ボタンを押すと、
PG設定ができます。

パスワード変更
PG設定のパスワードの変更を行います。

パスワードの工場出荷値は"111111"です。
TVモードのパスワードを変更するときは必ず控えて置いて下さい。
パスワードを忘れるとPG設定の変更が出来なくなってしまいますのでご注意ください。

ディスク情報
ハード、ソフトウェアのバージョンを選択します。

工場初期化
工場出荷状態に戻します。

1、▲▼ボタンでメニュー項目から「**工場初期化**」を選択し決定ボタンを押すと、
工場出荷値になります。

中継局モード
スキャンに中継局を含むか含まないかの設定をします。
信号が弱く受信出来ない場合は中継局モードをオンにして再度スキャンして
ください。

1、▲▼ボタンでメニューからオプションを選択し決定ボタンを押すと、中継局モード
のオン・オフを設定します。

テレビを観る・・・電子番組ガイド(EPG)

テレビの番組表を新聞のテレビ欄と同じような形で表示しますので、番組情報が一目で分かります。さらに電子番組ガイドは3局、最大3日分下記のように表示されます。

※番組表の取得に時間がかかる場合があります。

■番組表を見る

リモコンの 番組表 ボタンを押します。(番組一覧がダイレクトに表示されます。)

例

番組表		
		NHK携帯2　　1/10
6/29	18:20	ぱぱ帰ってきた!Yeah
6/29	18:45	「後海」は海ではない
6/29	18:55	水曜日のダンスパーティ
6/29	19:25	ヨーガ教室
6/29	19:50	美しい虹　写真展覧
6/29	19:55	よし、出発

■番組内容を見る

リモコンの プログラム 番組情報 ボタンを押します。(番組内容がダイレクトに表示されます。)

例

地上デジタル放送チャンネル一覧表（ご参考）

地域名	北　海　道		宮　城		秋　田		山　形	
チャンネル番号　放送局名	1	北海道放送	1	東北放送	1	NHK総合	1	NHK総合
	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育
	3	NHK総合	3	NHK総合	4	秋田放送	4	山形放送
	5	札幌テレビ放送	4	宮城テレビ放送	5	秋田朝日放送	5	山形テレビ
	6	北海道テレビ放送	5	東日本放送	8	秋田テレビ	6	テレビユー山形
	7	北海道文化放送	8	仙台放送			8	さくらんぼテレビ
	8	テレビ北海道						

地域名	岩　手		福　島		青　森		関東広域	
チャンネル番号　放送局名	1	NHK総合	1	NHK総合	1	青森放送	1	NHK総合
	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育
	4	テレビ岩手	4	福島中央テレビ	3	NHK総合	4	日本テレビ
	5	岩手朝日テレビ	5	福島テレビ	5	青森朝日放送	5	テレビ朝日
	6	ＩＢＣ岩手放送	6	テレビユー福島	6	青森テレビ	6	東京放送
	8	岩手めんこいテレビ	8	福島テレビ			7	テレビ東京
							8	フジテレビジョン
							9	MXテレビ
							12	放送大学

地域名	神奈川		群　馬		茨　城		千　葉	
チャンネル番号　放送局名	1	NHK総合	1	NHK総合	1	NHK総合	1	NHK総合
	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育
	3	テレビ神奈川	3	群馬テレビ	4	日本テレビ	3	千葉テレビ
	4	日本テレビ	4	日本テレビ	5	テレビ朝日	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	6	東京放送	5	テレビ朝日
	6	東京放送	6	東京放送	7	テレビ東京	6	東京放送
	7	テレビ東京	7	テレビ東京	8	フジテレビジョン	7	テレビ東京
	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	12	放送大学	8	フジテレビジョン
	12	放送大学	12	放送大学			12	放送大学

地域名	栃　木		埼　玉		長　野		新　潟	
チャンネル番号　放送局名	1	NHK総合	1	NHK総合	1	NHK総合	1	NHK総合
	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育
	3	とちぎテレビ	3	テレビ埼玉	4	テレビ信州	4	テレビ新潟
	4	日本テレビ	4	日本テレビ	5	長野朝日放送	5	新潟テレビ２１
	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	6	信越放送	6	新潟放送
	6	東京放送	6	東京放送	8	長野放送	8	新潟総合テレビ
	7	テレビ東京	7	テレビ東京				
	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン				
	12	放送大学	12	放送大学				

地域名	山　梨		中京広域		石　川		静　岡	
チャンネル番号　放送局名	1	NHK総合	1	東海テレビ放送	1	NHK総合	1	NHK総合
	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育
	4	山梨放送	3	NHK総合	4	テレビ金沢	4	静岡第一テレビ
	6	テレビ山梨	4	中京テレビ放送	5	北陸朝日放送	5	静岡朝日テレビ
			5	ＣＢＣ	6	北陸放送	6	静岡放送
			6	メ～テレ	8	石川テレビ	8	テレビ静岡
			10	テレビ愛知				

地域名	福　井		富　山		三　重		岐　阜	
チャンネル番号　放送局名	1	NHK総合	1	北日本放送	1	東海テレビ放送	1	東海テレビ放送
	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育
	7	福井放送	3	NHK総合	3	NHK総合	3	NHK総合
	8	福井テレビ	6	チューリップテレビ	4	中京テレビ放送	4	中京テレビ放送
			8	富山テレビ	5	中部日本放送	5	中部日本放送
					6	名古屋テレビ放送	6	名古屋テレビ放送
					7	三重テレビ放送	8	岐阜放送

※受信障害がある環境では、エリア内でも受信出来ないことがあります。
※チャンネル番号はリモコンのチャンネル番号です。地域によっては表と異なる場合もあります。

地上デジタル放送チャンネル一覧表（ご参考）

地域名	大阪		京都		兵庫		和歌山	
チャンネル番号／放送局名	1	NHK総合	1	NHK総合	1	NHK総合	1	NHK総合
	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育
	4	毎日放送	4	毎日放送	3	サンテレビ	4	毎日放送
	6	朝日放送	5	京都放送	4	毎日放送	5	テレビ和歌山
	7	テレビ大阪	6	朝日放送	6	朝日放送	6	朝日放送
	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ
	10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ

地域名	奈良		滋賀		広島		岡山	
チャンネル番号／放送局名	1	NHK総合	1	NHK総合	1	NHK総合	1	NHK総合
	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育
	4	毎日放送	3	びわ湖放送	3	中国放送	4	西日本放送
	6	朝日放送	4	毎日放送	4	広島テレビ放送	5	瀬戸内海放送
	8	関西テレビ	6	朝日放送	5	広島ホームテレビ	6	山陽放送
	9	奈良テレビ	8	関西テレビ	8	テレビ新広島	7	テレビせとうち
	10	読売テレビ	10	読売テレビ			8	岡山放送

地域名	島根		鳥取		山口		愛媛	
チャンネル番号／放送局名	1	日本海ＴＶ	1	日本海ＴＶ	1	NHK総合	1	NHK総合
	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育
	3	NHK総合	3	NHK総合	3	テレビ山口	4	南海放送
	6	山陰放送	6	山陰放送	4	山口放送	5	愛媛朝日テレビ
	8	山陰中央テレビ	8	山陰中央テレビ	5	山口朝日放送	6	あいテレビ
							8	テレビ愛媛

地域名	香川		徳島		高知		福岡	
チャンネル番号／放送局名	1	NHK総合	1	四国放送	1	NHK総合	1	九州朝日放送
	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育
	4	西日本放送	3	NHK総合	4	高知放送	3	NHK総合
	5	瀬戸内海放送			6	テレビ高知	4	ＲＫＢ毎日放送
	6	山陽放送			8	高知さんさんテレビ	5	福岡放送
	7	テレビせとうち					7	ＴＶＱ九州放送
	8	岡山放送					8	テレビ西日本

地域名	熊本		長崎		鹿児島		宮崎	
チャンネル番号／放送局名	1	NHK総合	1	NHK総合	1	南日本放送	1	NHK総合
	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育
	3	熊本放送	3	長崎放送	3	NHK総合	3	テレビ宮崎
	4	熊本県民テレビ	4	長崎国際テレビ	4	鹿児島読売テレビ	6	宮崎放送
	5	熊本朝日放送	5	長崎文化放送	5	鹿児島放送		
	8	テレビ熊本	8	テレビ長崎	8	鹿児島テレビ放送		

地域名	大分		佐賀		沖縄	
チャンネル番／放送局名	1	NHK総合	1	NHK総合	1	NHK総合
	2	NHK教育	2	NHK教育	2	NHK教育
	3	大分放送	3	サガテレビ	3	琉球放送
	4	テレビ大分			5	琉球朝日放送
	5	大分朝日放送			8	沖縄テレビ

※受信障害がある環境では、エリア内でも受信出来ないことがあります。
※チャンネル番号はリモコンのチャンネル番号です。地域によっては表と異なる場合もあります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思った時は、下記の項目をもう一度チェックしてください。また、一度本体の電源をオフにしてから、再度起動してみてください。それでも正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご相談いただくか、弊社サポートセンターにご連絡ください。

（各項目の詳細は、この説明書の対応する項目をお読みください）

症状	考えられる原因・確認事項
本体が作動しない	本体の電源ランプが点灯していますか。
	点灯していない場合は本体の電源がONであることと、電源が正しく接続されていることをご確認ください。
ディスクを再生できない	ディスクに傷や汚れが無いことをご確認ください。
	ディスクのリージョンコードが本体と合っていない可能性があります。リージョンコードの合わないディスクは再生することができません。
	ディスクを逆に本体にセットしていませんか。 印刷面が裏面になるようにディスクをセットしてください。
	視聴制限機能が作動している可能性があります。ディスクの視聴制限の有無と、本体の設定をご確認ください。
	本体を冷たい場所から急に暖かいまたは湿気のある場所に移動すると、内部に結露が生じる可能性があります。電源を抜いて、本体の温度が室温と同じになり結露した水分が蒸発するまで、しばらく使用しないでください。
	温度が高い所や低い所で使用していませんか。本製品の使用環境は0℃～40℃です。
	DVD-R/RWディスクの場合、ディスクに「ファイナライズ」という処理を行わないと再生できません。ファイナライズの行い方については、　ディスクに録画を行ったDVDレコーダーやPC等の説明書をご確認ください。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因・確認事項
ディスクを再生できない、又は取り出させない	DVD-RとDVD-RWディスクの場合は、VRモードで録画が行われている必要があります。
	ディスク固有の問題の可能性があります。他のディスクが再生できるか試してみてください。
	DVDモード以外になっていませんか。DVDモードにして取り出しを行ってください。
本体がリモコンの操作に反応しない	リモコンの電池がきれていませんか。 付属品の電池はテスト用です。 新しい電池に交換してみてください。
	リモコンの発信部と本体前面の受光部の間に、信号を遮る物が無いよう注意してください。
	本体の電源ランプが点灯していますか。 点灯していない場合は電源が正しく接続されていることをご確認ください。
	本体前面の受光部が直射日光や強い光にさらされていると、リモコンがうまく動作しない場合があります。 光があたらないようにするか、リモコンの角度を変えたり、受光部に近づいて操作してください。
画像・音声が乱れる、出ない	本体やテレビ/AV機器の電源は入っていますか。
	ディスクに傷や汚れが無いことをご確認ください。
	ディスクは正しくセットされていますか。
	本体の設定、テレビ/AV機器の設定が正しく設定されていることをご確認ください。
	電波を発生する機器の近くで使用していませんか。
	本体を冷たい場所から急に暖かいまたは湿気のある場所に移動すると、内部に結露が生じる可能性があります。 電源を抜いて、本体の温度が室温と同じになり結露した水分が蒸発するまで、しばらく使用しないでください。
	温度が高い所や低い所で使用していませんか。 本製品の使用環境は0℃～40℃です。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因・確認事項
画像・音声が乱れる、出ない	消音になっていないかご確認ください。 （消音ボタンを押してみてください。）
	本体の音量ボタンが最小音になっていないかご確認ください。
音声の切換ができない	再生しているディスクに、複数の音声が記録されて いない可能性があります。
字幕の切換ができない・消せない	再生しているディスクに、複数の字幕が記録されて いない可能性があります。
AV機器接続時に画像・音声が乱れる・出ない	AV機器の出力端子と本体の入力端子が正しく接続されていることを ご確認ください。
	ケーブルに緩みなどが無いことをご確認ください。
TV映像や音声が出ない または、時々出なくなる映像が静止する または、時々静止する	放送の受信地域であることを確認ください。
	UHFアンテナの向きが、風や振動によりかわっていませんか？または アンテナ線の劣化などはありませんか？ →「地上デジタル受信設定」で、アンテナ入力レベルが受信可能レベル （４４以上が目安）に達しているかご確認ください。 （アンテナ入力レベルはチャンネルによって異なります。またアンテナシステムの条件などにより変動する場合がありますので十分な余裕を取る事をお勧めします）

製品仕様

型　番	EB－RM19DTV
品　名	19型DVD内蔵デジタルハイビジョンLEDテレビ
電　源	100−240V　50/60Hz　DC　12V　3A
本 体 サイズ	約445（W）×170（D）×311（H)mm（台座含む）
画　面	18.5インチデジタル液晶 16：9解像度：1366×768RGB ※4：3PS、4：3LB映像のDVDディスクは非対応となります。
製 品 重 量	約3.4Kg
動 作 温 度	約0～40度
対 応フォーマット	DVD、DVD−R/RW(VRモード/CPRM記録ディスク含む）、 MP3、WMA、CD、CD−R/RW、JPEG、 AVI（最大解像度：720×480） ※テレビ放送を2時間を超えて録画したDVDは、 正常に再生できない場合があります。
受 信チャンネル	フルセグ（地上デジタル放送） UHF13～62ch、CATVC13～C63 ※インターネット回線を利用しての地デジ受信環境には対応 しておりません。
消 費 電 力	36W
出 力 端 子	ヘッドホン出力端子
入 力 端 子	PC入力端子、PC音声入力端子、HDMI入力端子、S−VIDEO端子、AV端子
インターフェース	SDメモリーカード、SDHCメモリーカード（最大8GBまで対応）
スピーカー出力	スピーカー出力3W×2
付 属 品	取扱説明書、ACアダプター、miniB−CASカード、 リモコン、リモコンテスト用単4形乾電池×2、ネジ4本、台座、AVコード

※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

注意事項【必ずお読みください】

◇地上デジタル放送を受信する場合は一部地域や環境施設によって

電波が入らない地域がございますのでご了承ください。

◇地デジ放送の視聴手順

家庭用アンテナを接続しminiB-CASカードを挿入後、説明書に記載されているチャンネル

設定を行わなければ視聴することはできません。

◇SDカードの機種、メーカー、年式等によっては正しく動作しない場合がございます。

　大切なデータはバックアップしておくことをお勧めいたします。

◇DVD-R/RW、CD-R/RWはデイスクの状態や記録状態,、記録機器の状態によっては再生

できない場合があります。

◇液晶パネルのドット抜けは製品の性質上、初期不良交換・修理・返品制度の対象外となります。

◇アンテナケーブルは付属しておりません。

◇壁掛け金具別売り（市販）

◇本製品はデータ放送には対応しておりません。

保証条件の内容

本保証書は製品ご購入日から本書に定める保証期間内に故障が発生した場合に本書記載内容で無料修理する事をお約束するものです。修理は必ず本保証書をご提示の上、ご依頼ください。

【無料修理規定】

1. 取扱説明書等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合に限り無料にて修理させていただきます。
   ●無料修理をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に本書を添えてご依頼ください。
   ●ご購入の販売店にご依頼にならない場合は、**サポートセンター**にご相談ください。
2. 保証期間内でも次のような場合には有償になります。
   ●使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
   ●火災、地震、風水害、落雷、その他の天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電源（電圧、周波数）、などによる故障及び損傷。
   ●ご購入後の移動、落下あるいは輸送などによる故障及び損傷。
   ●本保証書のご提示がない場合。
   ●本保証書にご購入年月日、お客様名、ご購入販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   ●消耗品、付属品などを他社製品と交換することによる故障及び損傷。
   ●液晶の損傷。
3. 本製品の故障などに伴う二次的損害に対する保証は致しません。
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
5. 本保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。
6. データの取り扱いについて
   ●修理依頼品に装着したお客様のディスクやメモリーなど記録媒体で不具合確認する場合、記録されたデータ（お客様が録音・録画した音楽・映像データ、各種設定内容等を含む）を必要に応じ修理過程で閲覧・実行する場合がありますが、修理目的以外に使用いたしません。
   ●本修理サービスにおきまして、当社は記録データについての複製、バックアップ、復元作業等は一切行いませんので、ご了承願います。
   ●修理のために必要と判断した場合、修理依頼品の設定を初期化、工場出荷状態に戻す等の作業を行わせていただきます。その際にお客様が登録した設定等は失われます。
   ●修理等の作業にあたっては細心の注意を払いますが、前項以外の場合であっても作業の過程で記録データの破損・消失等が生じる場合があります。
   当社は、記録データの破損・消失等についての責任は負いかねますので、ご了承願います。
   ※修理の際に大切な記録データ（音楽・映像など）などは必ずバックアップをおとりください。
   ●修理等の作業にあたって部品交換した場合は、交換した部品は株式会社イーバランスの所有物として回収させていただき、返却は致しかねますのでご了承願います。

保証書・サポート

商品の修理、検査依頼、万が一の初期不良、不具合、商品説明、操作方法、 荷物確認などの問題が発生した場合は下記番号へ

サポートセンター

サポートダイヤル:042−631−5357

FAX:042−631−5359

住所:〒192−0906　東京都八王子市北野町598−11

営業時間:平日10:00〜17:00(土日祝祭日は休み)

電話集中している場合は、通話が繋がりにくい、繋がらない場合もございます。 再度お時間をおいておかけ直しくださいますようお願い致します。

ROOM MATE